

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価	
I 等しく認めよう										
1 固定的な意識の是正										
(1) 性別による役割分担意識・慣習の是正	① 固定的性別役割分担意識に基づく意識・慣習の是正	1. 男女平等に関する啓発活動の推進	男女共同参画課	実施した	男女共同参画センター	実施した	・男女共同参画だより「やちよべあ」を発行し、男女共同参画社会づくりに関する情報提供を行った。 発行回数 H30 4回, H29 1回, H28 3回 ・市ホームページを随時更新して、男女共同参画社会づくりに関する情報を提供した。 ・ポスターの掲示や寄贈パンフレットの市民配布により男女共同参画意識の向上を図った。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女共同参画に関する統計資料などを配布し、資料に基づき講話を実施した。	・性別による役割分担意識や慣習の是正に向けて啓発できた。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女平等意識の啓発を行うことができた。	積極的な推進が見られた	
			生涯学習振興課				実施した	・視聴覚教材センターにおいて、男女共同参画に関わる教材の貸出を行っている。 30年度 実績なし 29年度 実績なし 28年度 実績なし	男女共同参画についての情報を提供できるように貸し出し用の教材を保有しているが、貸し出し実績がなかった。周知方法について検討したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
			生涯学習振興課(図書館)				実施した	・男女共同参画に関する資料を購入し、利用者に提供した。 購入冊数 (H28年度:6冊 H29年度:13冊 H30年度:29冊) ・大和田図書館では、「パパと一緒に楽しみたい絵本」のリストを作成・配布し、平成30年10月末から絵本の展示も行っている。 ・八千代台図書館では、男女共同参画週間に男女のパートナーシップについての展示を行った。 ・勝田台図書館では、平成30年12月にLGBTIについての展示を行った。 ・緑が丘図書館では、平成30年8月から男女共同参画についての常設展示を行っている。数か月ごとにテーマを変え、展示内容を更新している。	・男女共同参画に関する資料を購入し、利用者に提供することによって、男女平等意識の向上を図った。 ・男女共同参画についての展示を行い、利用者へのPRIに努め、利用の促進を図った。	現状維持(具体的な取組を行った)
	① 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	2. 人権尊重に関する啓発活動の実施	生涯学習振興課	実施した	千葉県が主催する「社会人権教育地区別研修会」について、市民へ参加の周知・募集を行った。協力:葛南地区5市(八千代市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市)また、千葉県が発行する社会人権教育資料等を公民館や図書館等に配付し、各施設で配架することによって、人権教育の推進を図った。 また、視聴覚教材センターにおいて人権教育に関する教材の貸し出し業務を行ったが、平成30年度の実績はなかった。 社会人権教育地区別研修会 16人	・互いの人格を認め合い人権を尊重し合うための意識の浸透を促進するため、各種事業を実施した。 ・社会人権地区別研修会の参加者数が16人に増加した。 ・人権教育教材貸し出しの実績がなかったことから、より一層の周知活動に取り組みたい。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			男女共同参画センター	実施した	・「男女共同参画だよりやちよべあ」を発行し、男女共同参画社会づくりに関する情報提供を行った。 発行回数 H30 4回, H29 1回, H28 3回 ・市ホームページを随時更新して、男女共同参画社会づくりに関する情報を提供した。 ・ポスターの掲示や寄贈パンフレットの市民配布により男女共同参画意識の向上を図った。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女共同参画に関する統計資料などを配布し、資料に基づき講話を実施した。	・性別による役割分担意識や慣習の是正に向けて啓発できた。 ・主催講座参加者・利用登録団体の代表者に男女平等意識の啓発を行うことができた。	積極的な推進が見られた			
			健康福祉課	実施した	子どもたちに、スポーツを通じて人を思いやる気持ちや協調性を育ててもらうことを目的として、男子プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」のコーチを招いて、外国人の人権をテーマとした人権ワークショップとバスケットボール教室を実施した。 H30年度 参加児童48名(男児26名, 女児22名) H29年度 ※船橋市開催(船橋市と隔年で実施) H28年度 参加児童26名(男児21名, 女児5名) ※野球教室	参加児童に対し実施したアンケートより、人権についての理解が深まったと回答した児童が64%であり、また、バスケットボールやワークショップを通じて「相手の気持ちを思いやることの大切さが分かった」といった回答が得られたことから、事業目的はある程度達成されたものと考ええる。	積極的な推進が見られた			
(2) 一人ひとりの人権・人格の尊重意識の浸透	① 一人ひとりの人権・尊重意識の浸透	3-1. 相談の場の提供、相談の実施 (1)人権相談	健康福祉課	実施した	船橋市人権擁護委員協議会の人権擁護委員による人権相談を実施。 ・日時:月1回、午後1時~4時 ※6月のみ午前10時~正午も実施 ・場所:八千代市役所旧館1階第3相談室 ※6月と12月は福祉センター4階研修室 ・相談件数 30年度 8件, 29年度 4件, 28年度 7件	定期的な開催により、人権についての悩み・心配事を気軽に相談できる場を提供することができた。 件数が減少傾向にあるので、広報以外の周知方法について検討したい。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			男女共同参画センター	実施した	悩みを抱える女性に対し、専門の相談員が精神的な支援を行った。相談内容によっては専門機関を紹介した。 ・相談件数 H30 669件, H29 689件, H28 706件	この電話を心の支えにしている相談者も多く、ニーズがある事業である。継続して実施するとともに、一層の周知を図りたい。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			男女共同参画課	実施した	市内事業所に対し、男女共同参画社会形成に向けての事業所調査を実施。 対象事業所数 1, 834件(前回H25調査 1, 836件)	事業所に対する意識付けにつながった。調査結果については、次期男女共同参画プランの基礎資料として活用していく。	積極的な推進が見られた			
(3) 性別による役割分担意識の是正のための調査・研究	① 意識調査等関連情報の収集・整理・提供	4. 男女共同参画に関する調査の実施、情報提供	男女共同参画課	実施した	市内事業所に対し、男女共同参画社会形成に向けての事業所調査を実施。 対象事業所数 1, 834件(前回H25調査 1, 836件)	事業所に対する意識付けにつながった。調査結果については、次期男女共同参画プランの基礎資料として活用していく。	積極的な推進が見られた			

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号、事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
2 男女の人権擁護									
	(1) ドメスティックバイオレンスの発生を防ぐ意識づくり	① 暴力を許さない意識づくりと相談体制の整備	5. 暴力行為を許さない意識づくり		男女共同参画課	実施した	・毎月広報で周知している「女性、こころの悩み電話相談」に、DVIに関するものがあつた場合、福祉総合相談室や県の女性サポートセンター等の専門機関を案内した。 DVIに関する相談件数 H30 1件、H29 1件、H28 9件 ・県で作成しているDV相談カード・チラシを市内公共施設に配布した。 ・市内の中学校、高校、大学にデートDVのチラシを配布した。	DVかどうかの判断が相談者の主観によるため、対応が難しい。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			6. 相談の実施		健康福祉課(福祉総合相談室)	実施した	DV被害者からの相談支援を実施し、必要に応じて、警察、配偶者暴力相談支援センター、行政関係部署、各相談支援機関等と連携を図り、相談支援を実施した。 <相談件数> H28年度 30件 H29年度 29件 H30年度 49件 (男性2件、女性47件)	DV被害者に対し、必要に応じた様々な情報提供を行うことができた。 加害者への対応について、被害者相談とは別の支援が必要である。	現状維持 (具体的な取組を行った)
	(2) セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	① セクシュアルハラスメント防止対策と体制整備	7. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実		商工課	実施した	市ホームページ及び国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、セクシャルハラスメント等労使間のトラブルに関する情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『労使間のトラブル防止』 『こんなときは労働委員会をご利用ください』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			7-1. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実 (1)市職員のハラスメントに関する相談		男女共同参画課	実施した	「男女共同参画だより やちよべあ」No.37に、どのようなことがセクシュアルハラスメントにあたるのか、事例を挙げて解説した内容を掲載し、「男女共同参画社会形成に向けた事業所調査」と同封して市内事業所に送付した。	市内事業所に対し、セクシュアルハラスメント防止の意識啓発ができた。	積極的な推進が見られた
			7-1. 市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実 (1)市職員のハラスメントに関する相談		職員課	実施した	・管理監督者を対象にしたハラスメント防止対策研修の実施 ・相談件数: 6件 ・連絡会議: 1回開催 ・相談員の質の向上をめざし、相談員2名がハラスメント研修を受講した。	・管理監督者向けハラスメント予防に関する意識の向上を図る必要がある。 ・ハラスメント相談体制の整備及び質の向上を図る。	現状維持 (具体的な取組を行った)
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
	(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進	① 男女共同意識の啓発	8. 保育園、幼稚園、小中学校における男女平等の視点に立った保育、教育の推進		子ども保育課(保育園)	実施した	保育園において男女平等の視点に立った保育の推進を図るため、園児が同じ活動を体験するような保育を実践した。	男女平等の視点に立った保育の推進を図ることができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)
					学務課	実施した	各学校において、男女共同参画の視点に立った教育活動ができるように、学校運営について指導・助言を行った。	男女平等の視点に立った教育の推進について、校長会議や教頭会議において指導・助言を行った。	現状維持 (具体的な取組を行った)
					指導課	実施した	校内の活動や職業体験授業を通して、性別に関わらず協力し行動する意義や大切さを学ばせている。	幼保小中学校の発達段階に応じ、意識づくりの推進を図った。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			9. 人権講演、運動の支援		健康福祉課	実施した	船橋人権擁護委員協議会の人権擁護委員が、市内小中学校の児童、生徒を対象に人権をテーマとした講演会や、「人権の花運動」としてチューリップの球根の配布・植えつけを実施した。 ・実施回数(小学校) 30年度 16回、29年度 17回、28年度 22回 ・実施回数(中学校) 30年度 2回、29年度 1回、28年度 2回 ・実施回数(学童保育所) 30年度 6回、29年度 1回、28年度 5回 ・「人権の花運動」実施校 30年度 4校、29年度 4校、28年度 4校	児童生徒一人ひとりが互いを尊重し人権を大切に育むことができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			10-1. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (1)保育士研修会		子ども保育課(保育園)	実施した	性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の実践等について話し合い保育方法の工夫・改善に努めた。	性別にとらわれず一人ひとりの個性を伸ばす保育の推進を図ることができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)
			10-2. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (2)生徒指導主任(主事)、長欠担当者研修会		指導課	実施した	国、県、市の生徒指導・不登校等児童生徒の問題行動に係る施策の通知を周知徹底し、取り組んでいくため、下記を行った。 ・市内全小中学校の生徒指導担当者を対象とした研修会を実施。(1回。前年度: 1回) ・市内全小中学校の長期欠席者対応担当者を対象とした研修会を実施。(3回。前年度: 3回)	・各研修を通じて、各学校担当者に対して男女平等の視点に立った施策等の周知徹底を図れた。 ・男女平等の視点に立った児童生徒の健全な育成には、指導がすぐに効果が表れるものではないため、性別にとらわれず各児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導支援が必要である。	現状維持 (具体的な取組を行った)

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めあう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(1) 保育園・幼稚園・学校における意識づくりの推進			① 男女共同意識の啓発	10-3. 男女平等の視点に立った保育、生徒指導のための研修の充実 (3) 各種会議等における指導、助言、啓発	指導課	実施した	下記の場で指導・助言を行った。 ・不登校児童生徒対策支援教室担当者会議 ・小中生徒指導推進研究協議会 ・中高生徒指導推進研究協議会等	受講者が研修内容を各学校で周知し、学校として一貫性のある男女平等の視点に立った指導に努め、組織的な対応ができる生徒指導の体制作りを強化したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
			② 男女ともに主体的な選択と能力・適性をいかすことのできる教育の推進	11. 小中学校担当教員の学校人権教育研修会の実施	指導課	実施した	学校人権教育研修会を実施した。(年2回)	各小中学校人権教育主任の人権に対する意識が高まった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				12. 教育内容に応じた混合名簿の活用	指導課	実施した	指導内容に応じ、卒業生台帳の公簿などは生年月日順とし、男女混合名簿を使っている。	今後も、内容に応じ、男女混合名簿を使っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				13. 学校における総合的な学習の時間、キャリア教育の充実	指導課	実施した	主体的な選択と、能力・適性を生かせるよう、小学校では職業調査学習、中学校では職場体験学習を行っている。	性別にかかわらず、自分の能力と適性を生かせることを学べた。	積極的な推進が見られた
				14. 進路指導担当教職員の研修の充実	指導課	実施した	性別にかかわらず、進路について子どもたちが考えられるよう、八千代市進路連絡協議会において、進路指導担当教職員に会議の中で周知を徹底した。	性別にかかわらず、個人の希望に沿った進路指導を実施している。	積極的な推進が見られた
				15. 中学校における技術家庭科授業の男女共修の充実	指導課	実施した	・男女ともに技術分野及び家庭分野を学んでいる。 ・八千代市中学校技術家庭科作品展を実施した。	技術分野及び家庭分野を、男女性別に関わらず学び、安全に取り組み、能力を生かすことに繋がった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				16-1. 技術家庭科担当教員研修の充実 (1) 中学校技術家庭科実技研修会	指導課	実施した	千葉県職業能力開発協会の協力を得て、和裁マイスターを講師に招き、男性教諭も女性教諭も関係なく、研修を受けた。	男性教諭も積極的に研修に参加して学び、その研修を生かし、実際に子どもたちに授業をすることで「縫い物は女性」という固定観念を子どもたちが持たないように、男女共同参画の意識づくりを図れた。	積極的な推進が見られた
			16-2. 技術家庭科担当教員研修の充実 (2) 小学校家庭科実技研修会	指導課	実施した	昨年度に続き、男性教諭研修参加を促した。 <男性教諭の研修参加者数> H28:3人 H29:3人 H30:1人	平成30年度も男性教諭の研修への継続した参加があった。今後もより多くの参加を目指して、男性教諭の参加を呼びかけていく。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			17. 小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施した	小学校6年生の体育で「病気の予防」、中学校3年生の保健体育で「感染症の予防」としてエイズを含めた性感染症について学習する機会を設けるとともに、学級活動や学校行事等の特別活動の中で性に関する指導を行っている。啓発活動として思春期保健ネットワーク会議と連携して中学1年生に性に関するリーフレットの配布及び配布後のアンケート調査に協力した。	各学校における体育・保健体育及び特別活動での指導が性に關する正しい知識の習得につながっている。思春期保健ネットワーク会議で作成した中学生向けリーフレットの配布は正しい知識普及の一助となった。また、配布後のアンケート調査を分析することで現状の把握ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			(2) 家庭や地域における意識づくりの推進			① 家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発	18. 家庭や地域に関する学習機会の充実	男女共同参画センター	実施した
生涯学習振興課(公民館)	実施した	①高津公民館「高津いきいき学級」(座学編)(全3回)延べ参加人数 57人(男性9人・女性48人) ② " " 「高津いきいき学級」(健康編)(全3回)延べ参加人数 30人(男性5人・女性25人) ③八千代台公民館「八千代悠々倶楽部」(全4回)延べ参加人数 18人(男性12人・女性6人) ④村上公民館「村上いきいき元氣教室」(全7回)延べ参加人数 111人(男性19人・女性92人) ⑤睦公民館「睦リフレッシュ講座」(シニア編)(全5回)延べ参加人数 54人(男性5人・女性49人) ⑥八千代台東南公民館「東南きらめき倶楽部」(全9回)延べ参加人数 275人(男性55人・女性220人) ⑦緑が丘公民館「ときめき倶楽部」(全8回)延べ参加人数 192人(男性39人・女性153人) ※毎年、同じ講座を開講しているわけではないので、年度ごとの人数は入力できない。						各公民館において、主に高齢者を対象とし学習や趣味作り、地域でのコミュニケーションを促進することを目的として講座を実施した。講座を通じ、家庭生活や地域活動に関わっていくための素地を作ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
生涯学習振興課(公民館)	実施した	1各公民館において、未就学児から小中学生の保護者を対象に「家庭教育学級」等、家庭教育に関する講座を11講座開講した。 延べ参加人数 210人 2各公民館及び総合生涯学習プラザにおいて、1歳児の親子を対象に「1歳児親子学級」を10学級開講した。 延べ参加人数 3, 248人 3いくつかの公民館において、0歳児・2歳児・3歳児の親子を対象に、子どもの月齢に合わせた家庭教育に関わる講座を6講座開講した。 延べ参加人数 463人						1歳児親子学級は、市内9公民館で統一した事業として毎年開講している。30年度より、全6回の開催数を全10回とした。需要もあり、館によっては定員を超える応募状況であった。家庭教育学級においては、小中学生の保護者を対象としていることから働きに出ている親が多いなど参加者数の減少が課題となっている。「学級」の形態にとらわれず、単発での講座の開講なども視野に家庭教育講座の充実を図る。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
I 等しく認めよう									
3 男女共同参画の視点に立った教育の推進									
(2) 家庭や地域における意識づくりの推進	① 家庭や地域における男女共同参画推進のための学習機会の充実と啓発	19-1. 家庭教育の支援 (1) 家庭教育講演会	生涯学習振興課	実施した	第1回家庭教育講演会(講師:日本ウェルネススポーツ大学教授 近藤卓氏 参加者数84人)と第2回家庭教育講演会(講師:親業訓練協会 シニアインストラクター 式場敬子氏 参加者数67人)を開催した。	実施した	実施した家庭教育講演会を通して、家庭教育の普及を図ることができた。より多くの人に家庭教育講演会に参加いただけるよう、今後も積極的に周知していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
		19-2. 家庭教育の支援 (2) 家庭教育学級だよりの発行	生涯学習振興課	実施した	「家庭教育だよりの小学生版と中学生版を作成し、市内の小・中学校に通学する児童・生徒の保護者に配布した。	実施した	家庭教育に関する情報を提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
		20. 男女で子育てする意識の啓発	子ども保育課(保育園)	実施した	保育園行事(運動会・保育参観・懇談会・発表会など)において夫婦一緒に子育てする意識が持てるような内容を取り入れ、配布物や掲示物において参加を促し、男女で子育てする意識向上の啓発を行った。	実施した	配布物や掲示物による行事等の情報提供を通じ、男女で子育てする意識の向上を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士の交流行事の実施により夫婦で子育てする意識向上の啓発を図った。 「お父さんと一緒に遊ぼう」開催・父親の延参加者数 H30 2回・27人 H29 5回・46人 H28 6回・100人	実施した	父親が参加できる行事等の実施により男女で子育てする意識向上の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			子育て支援課	実施した	子育てに関するサイトである「にこにこ☆元気」の運営を行うことで、啓発を行った。 ・閲覧数 28年度 2,786人 29年度 4,241人 30年度 4,195人 (各年度4月1日～3月31日集計)	実施した	子育てに関するサイト「にこにこ☆元気」の運営を行うことで、啓発を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			男女共同参画課	実施した	男性が育児に積極的に関わるように子どもとの関わり方を学ぶ講座を実施。 ・パパと作るランチプレート 12月2日(土) 参加人数 H30 8組16人, H29 7組14人, H28 8組16人 ・パパと一緒にリトミック 3月17日(土) 参加人数 H30 14組28人, H29 11組25人(H28実施なし)	実施した	父親が子育てに関わる大切さの意識づくりを図れた。人気講座であり、ニーズも高いことから今後も実施したい。	積極的な推進が見られた	
21. 男性の子育て推進	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	地域子育て支援センター及び子ども支援センターすてっぷ21大和田・勝田台において夫婦で子育てする意識の向上を目的に父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や父親同士の交流行事を実施した。 「お父さんと一緒に遊ぼう」開催・父親の延参加者数 H30 2回・27人 H29 5回・46人 H28 6回・100人	実施した	父親が参加できる行事等の実施により男女で子育てする意識向上の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
II 共に作りだす									
1 政策・方針決定の場への男女共同参画									
(1) 行政における多様な参画の推進	① 審議会等への市民登用の促進	22. 審議会等における女性委員比率目標達成	男女共同参画課	実施した	女性委員登用状況調査を実施し、結果を庁内に周知することで、登用率向上への協力を求めた。	実施した	女性委員登用促進への意識付けにつながっている。	現状維持(具体的な取組を行った)	
		② 審議会等への市民登用の機会均等	23. 審議会等委員における公募委員登用機会均等	コミュニティ推進課	実施した	八千代市審議会等の整理統合及び運営等に関する指針にて、「審議会等における女性委員の数は、やちよ男女共同参画プランに掲げた目標値35%の達成に努めるものとする」とされており、市民公募等に際しては、当該内容について各課へ周知を行い、選考に際して女性委員の割合を高めるよう促した。 各種審議会等における公募による市民委員の登用率 30年度 8.64% 29年度 8.99% 28年度 9.02% 各種審議会等における女性委員の登用率 30年度 32.68% 29年度 32.22% 28年度 31.71%	実施した	女性委員の登用率についていえば、平成28年度から平成30年度までにおいて確実に数字が伸びており、各審議会担当課の女性委員の割合を高めることへの意識は浸透されてきており、周知できた。	現状維持(具体的な取組を行った)
		③ 市女性職員の採用と管理職への登用の促進	24. 市女性職員の採用、管理職への登用の促進	職員課	実施した	性別に関わらず適切な人事管理・職員の採用を行った。 職員採用試験受験者のうち女性の割合 単位 % 28年度 29年度 30年度 45.7 36.9 35.8 管理職職員のうち女性職員の割合 単位 % 28年度 29年度 30年度 22 18.8 19.6 女性職員の採用 平成30年度 単位 人 28年度 29年度 30年度 25 24 19	実施した	保育士等を中心に女性の採用者数が増加傾向にある。今後は技術職を中心に女性の受験者数の確保、また、女性職員の管理職等への登用及び職域の拡大を図る予定である。	現状維持(具体的な取組を行った)
(2) 男女共同参画推進のための指導者の人材発掘・育成	① 指導者育成のための学習機会・交流機会の充実	25. 自主学習グループの育成とリーダーの発掘	男女共同参画センター	実施した	男女共同参画センター利用団体を対象に、男女共同参画の理解を深めることを目的とした研修会を実施した。 3月15日(休) 参加人数 H30 27人, H29 26人, H28 26人	実施した	男女共同参画センター利用団体に対し、意識啓発を図ることができた。	積極的な推進が見られた	
2 地域での男女共同参画									
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	① まちづくりへの男女共同参画	26. 自治会の支援、育成	生活安全課	実施した	地域まちづくりをしている自治会活動事業への補助金を交付した。 30年度 1世帯当たり300円補助, 市内自治会数245 29年度 1世帯当たり300円補助, 市内自治会数245 28年度 1世帯当たり300円補助, 市内自治会数245 また、開発事業における事前協議の際に、入居者に対して自治会への加入、結成を働きかけた。	実施した	自治会活動事業への補助を行った結果、地域活動を支援でき、まちづくりへの多様な参画の推進を図ることができた。また、開発事業において自治会への加入、結成を働きかけたが加入率は低下した。	現状維持(具体的な取組を行った)	

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
1 政策・方針決定の場への男女共同参画									
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	① まちづくりへの男女共同参画			27. 自主防災組織創設、育成事業	総合防災課	実施した	<実施状況> ・新規自主防災組織、既存組織に補助金を交付した。 ・各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施した。 ・自主防災組織の新規結成を図るため、自主防災組織が未結成の自治会を訪問し、自主防災組織の結成に関する説明を行った。 <実績> ・新規結成した自主防災組織の組織数 H30: 6組織, H29: 6組織, H28: 3組織	自主防災組織が行う防災活動に対する補助金の交付や、各自主防災組織の会長を対象としたリーダー研修会を実施したことにより、自主的な防災活動の推進を図り、地域全体においてまちづくりへの多様な参画を推進した。	積極的な推進が見られた
				28. 防災意識の普及、啓発	総合防災課	実施した	<実施状況> まちづくりふれあい講座や防災訓練などで講話を実施した。 <実績> ・まちづくりふれあい講座の実施回数 30年度 2回 29年度 0回 28年度 1回 ・防災訓練における防災講話の実施回数 30年度 22回 29年度 26回 28年度 29回	まちづくりふれあい講座や防災訓練における防災講話などの実施により、市民の防災意識への普及・啓発を図り、地域全体においてまちづくりへの多様な参画を推進した。	積極的な推進が見られた
				29. リサイクル等のイベントの開催	クリーン推進課	実施した	・八千代フリーマーケット実行委員会主催によるフリーマーケットの開催を支援(後援)した。 <開催実績> 平成28年度 5月14日 800人 10月29日 900人 3月11日 600人 平成29年度 5月27日 600人 10月28日 700人 平成30年度 5月12日 1,300人 10月28日 1,000人 ・2018八千代どんと祭りに出展、リサイクルフェアースを出店し、エコグッズの配布等を行った。 <開催実績> 平成28年度 10月15日, 16日 2,000人 平成29年度 10月21日 175人 平成30年度 10月20日, 21日 1,677人	女性が主体となっている実行委員会により開催されており、女性の地域におけるまちづくりへの参画推進につながっている。フリーマーケット実行委員会は、9人中7人が女性によって構成されている。今後は委員が主体となって運営できるよう支援していきたい。また、多くの市民にごみの減量を通じたまちづくりへの参画が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				30. 市民活動サポートセンターの運営	コミュニティ推進課	実施した	・市民活動団体に利用者相互の交流の場を提供する交流支援、事務的な活動の場を提供する活動支援、情報の収集と発信の場を提供する情報支援を実施した。 ・ふれあい大学受講生の方々の地域デビューを支援するため、「地域デビュー講座」を開催。併せて受講生と市民活動団体の交流や理解を深めるため、各団体のブースを設置し地域デビューのきっかけづくりの場を提供した。 ・市民活動の周知と、市民活動団体相互の交流促進のため「やちよ市民活動フェスティバル2018」を開催。 ・新たに市民活動サポートセンターとボランティアセンターとの共催事業として「ボランティアカフェ」を開催し、地域活動・ボランティア活動への支援・育成につなげるためボランティアセンターとの連携強化を図った。 ・市民活動サポートセンター利用者数 30年度 5,975人 29年度 5,607人 28年度 5,630人	市民活動サポートセンターの利用者数は増加した。新たな事業を実施し、市民活動団体等の地域活動・ボランティア活動への支援・育成につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)
(2) 地域活動・ボランティア活動の支援と育成				31. 女性の消防団員の事業参画推進	消防総務課	実施した	・応急手当指導員の資格を持った女性消防団員が、救急隊と共に、市民への救命講習、小中学生に対して救命体験を行い普及啓発を行った。 H30年度46回・H29年度44回・H28年度29回 ・総合防災訓練、消防フェア等、大規模な防災訓練や地域の訓練等に参加し市民等への救命体験を実施した。 ・住宅用火災警報器普及活動に参加した。 H30年度2回・H29年度2回・H28年度2回 ・幼年消防クラブを対象に火災予防広報を実施した。 H30年度12回・H29年度13回・H28年度15回 ・消防団員を対象に、普通救命講習会を実施した。 H30年度5回・H29年度7回・H28年度5回	普通救命講習等及び住宅用火災警報器普及活動を行い、市民に対して普及啓発活動ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				32. 活動に関する情報提供の充実	青少年課	実施した	市のホームページ上で子ども・若者の体験活動等について「はっぴいういんど」で情報提供を行った。	情報提供元を精査し、ホームページにリンクを貼り、情報の窓口として機能するよう努めた。	現状維持(具体的な取組を行った)
2 地域での男女共同参画									
(1) まちづくりへの多様な参画の推進	② 地域活動・ボランティア活動の支援と育成			33. ボランティア活動の環境整備	健康福祉課	実施した	社会福祉協議会が福祉教育の一環として市内小中学校及び高等学校を対象とした各種出前講座を行い、地域活動・ボランティア活動への参画を促した。 ・出前講座(福祉教育) 28年度 14校 29年度 11校 30年度 19校 ・高齢者疑似体験・障害者疑似体験(車いす・アイマスク) ・ボランティア育成講座参加人数 28年度 200人 29年度 165人 30年度 138人 ・地域の担い手育成講座「県社協主催」(48名参加) ・災害ボランティア・被災者支援センター立上げ訓練(述べ65名)	福祉教育を通じ、ボランティア活動の大切さが育ぶことができ、ボランティアの育成にも繋がった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				34-1. 地域の人材活用の充実 (1)生涯学習ボランティアバンク	生涯学習振興課	実施した	ボランティアバンク制度について、市ホームページや総合生涯学習プラザホームページへの掲載、主催講座や市内イベントでのチラシ配布、広報やちよ平成31年2月15日号での特集記事の掲載などを実施し、制度の利用回数や利用者数、登録者数の増加につながった。	積極的に周知活動を行った結果、地域全体における、まちづくりへの多様な参画を推進することができた。また、講師登録者数が増加し、地域でボランティア活動を行いたい人への支援にも繋がった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				34-2. 地域の人材活用の充実 (2)公民館ボランティア講師制度	生涯学習振興課(公民館)	実施した	各種の技能・能力を持っている人が公民館でボランティア活動を行いやすくなるための「公民館ボランティア講師制度」を実施している。「公民館ボランティア講師制度」の活用を、公民館主催講座の講師としてだけでなく、公民館を利用する各サークルや、地域の方々が依頼できるように情報提供を行っている。 平成28年度ボランティア講師登録者数 78人 平成29年度ボランティア講師登録者数 78人 (*年度末を以て、更新確認) 平成30年度ボランティア講師登録者数 50人	29年度で任期満了となるタイミングに合わせ、任期を5年から3年に改め登録者に対し、継続の意思確認とさらなる充実を図るため制度に対する意見調査を行った。制度を通して、地域活動・ボランティア活動への参加意識を高める一助となっていることから今後も、啓発方法、情報提供など充実しに努める。	積極的な推進が見られた

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価																
II 共に作りだす																									
2 地域での男女共同参画																									
(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働	② 地域活動・ボランティア活動の支援と育成	35. 地域集会施設の整備	生活安全課	実施した	男女が共同参画し地域まちづくりの拠点となる地域集会施設の修繕、管理運営に補助金を交付した。また開発事業による、事業主との事前協議にて、住居計画戸数が100戸以上の場合は集会用地や集会室等確保するよう指導した。	地域集会施設の修繕、管理運営に補助金を交付し、地域での集会活動の活性化を図るよう集会所の整備を支援できた。	現状維持(具体的な取組を行った)																	
						30年度 修繕事業補助金交付 1件 管理運営補助金交付 78件 開発事前協議指導 1件																			
						29年度 修繕事業補助金交付 1件 管理運営補助金交付 78件 開発事前協議指導 0件																			
						28年度 修繕事業補助金交付 3件 管理運営補助金交付 77件 開発事前協議指導 0件																			
						36. 連携と協働による男女共同参画の推進	男女共同参画センター	実施した	・千葉県よろず支援拠点・商工課と協力して、「女性のための創業セミナー」を実施。「女性のための創業セミナー1好きを仕事に! ~未来を描く創業セミナー」 9月20日(木) 参加人数 H30 22人, H29 20人, H28 23人 「女性のための創業セミナー2伝わるチラシのつくりかた」 10月4日(木) 参加人数 H30 24人(H29実施なし) ・市内女性起業家と協力し、男女共同参画週間事業の際に展示コーナーを設けた。 ・過去に活躍した女性の人生を振り返り、女性の生き方について考える「女性学講座」を支援団体「らいてうの会」との連携・協働で実施。 11月27日(火) H30 39人, H29 49人, H28 36人	連携・協働して男女共同参画の推進を図ることができた。	積極的な推進が見られた														
									37. 地域子育て支援ネットワークの構築	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	母子保健課と連携し、地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点として妊娠出産、乳幼児期を通じた支援を行った。	母子保健課と連携による地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点とした妊娠出産、乳幼児期を通じた支援を行い、子育てしやすいまちづくりの推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)											
												母子保健課	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠期から出産、乳幼児期までの切れ目のない支援の提供と子育てしやすいまちづくりの推進を図った。子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・母子保健課で地域情報交換会を実施。地域の特性に合わせて、子育てアドバイザー(保育士)と保健師がコーディネーターとなりネットワーク化を図った。 加えて、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターの地域に応じた活動として、関係機関の会議に随時出席して情報交換を行ったほか、支会との協働で出前「遊びと交流の広場」を開催し、多様な連携・協働につなげることができた。 ・地域情報交換会(合同開催の数により年間開催回数は増減する) 30年度 7回 134人、29年度 7回 136人、28年度 8回 144人	子育て支援関係団体との連携が取りやすくなってきており、ネットワークが構築されてきている。 引き続き、地域の特性に合わせたコーディネートをを行いネットワーク化を推進する。	現状維持(具体的な取組を行った)									
														38-1. 地域活動団体の支援、連携 (1)文化団体の支援、連携	文化・スポーツ課	実施した	市内の文化団体、3団体(八千代市短歌会、八千代市合唱協会、八千代管楽オーケストラ)が実施する各種の文化活動に関する事業に対して補助金を交付した。また、文化団体連絡会議を開催し、団体との連絡調整や意見交換を行った。	文化団体3団体(八千代市短歌会、八千代市合唱協会、八千代管楽オーケストラ)へ補助金を交付した。この補助金は、平成30年度で終了し、平成31年度から1%支援制度(八千代市市民活動団体支援金交付制度)への申請を提案してきた。そのような経緯もあり、文化団体活動補助金は、平成30年度をもって終了した。 また、市民文化祭参加団体を中心とした、文化団体連絡会議を実施することで、団体間の連携を強化するよう努めた。	現状維持(具体的な取組を行った)						
																	38-2. 地域活動団体の支援、連携 (2)青少年育成団体の支援、連携	青少年課	実施した	青少年の健全育成を目的とする団体に対し、活動費の一部を助成した。 また、活動事業に対し後援や各団体間の連携を図ることを支援し、活動への環境整備に努めた。	青少年の健全育成の活動が促進した。	現状維持(具体的な取組を行った)			
																				38-3. 地域活動団体の支援、連携 (3)青少年学校外活動支援事業実行委員会の支援、育成	青少年課	実施した	学校の休日等に子どもたちへの様々な体験活動の場や機会を提供している活動団体に対し、消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会等を実施し、活動内容の充実のための支援を行った。	消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会の実施により、子どもたちが地域のボランティアの指導のもと、生活・社会・自然等の様々な体験ができるような場や機会を提供した。また、それぞれの団体が持つ知識や情報を共有する場を設ける等	現状維持(具体的な取組を行った)
38-4. 地域活動団体の支援、連携 (4)PTA連絡協議会の支援、連携	指導課	実施した	八千代市PTA連絡協議会役員は、市内各小中学校のPTA会長・副会長を中心に構成されている。総会や研修会を開催し、子ども・教育・親のために年間を通じて活動を行っている。	連携・協働が図れた。今後もICT機器を使った会議時間短縮等、支援を継続していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)																				
			38-5. 地域活動団体の支援、連携 (5)地域活動団体の支援、連携	生涯学習振興課(公民館)	実施した																		子ども会や自治会等の地域団体との連携の強化、相互協力体制の充実を図る。また、その他地域活動に従事する各種団体の支援・育成に努める。公民館全体では、地域の自治会等の総会や役員会への場所の提供を行っている。	多様な主体の連携・協働が図れた。今後も継続したい。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号、事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共に作りだす									
2 地域での男女共同参画									
		(2) 多様な主体のネットワーク化による連携・協働	① 多様な主体の連携・協働	38-6. 地域活動団体の支援、連携（6）講座後の自主グループの支援、連携	教育総務課（郷土博物館）	実施した	八千代土器づくり同好会、竹細工同好会、古文書同好会、篆刻同好会は、博物館主催講座の受講生OBらが中心となって組織され、原則として毎月1回程度の同好会活動を博物館が支援している。その活動の成果を発表する展示会も博物館と連携の形でやっている。また、古文書資料の整理や、毎年度の博物館主催講座にも同好会員を講師、講師補助として、受講者の指導に当たるなど活躍の場もなっている。 ・縄文土器づくり講座開催日数 30年度 3日、29年度 3日、28年度 3日 ・縄文土器づくり講座作品展開催日数 30年度 19日、29年度 37日、28年度 25日 ・竹細工講座開催日数 30年度 1日、29年度 1日、28年度 1日 ・竹細工講座作品展開催日数 30年度 12日、29年度 12日、28年度 12日 ・篆刻講座開催日数 30年度 2日、29年度 2日、28年度 2日 ・篆刻講座作品展開催日数 30年度 8日、29年度 8日、28年度 8日	これらの活動により同好会への加入者の増加と共に、各団体の連携・協働が図れた。今後も引き続き、博物館と同好会の連携を深める必要がある。	現状維持（具体的な取組を行った）
				39. 関連施設、機関との連携	生涯学習振興課（公民館）	実施した	各関連施設との連携を図ることにより、活動の充実に努めた。 1社会教育施設との連携 公民館・図書館・郷土博物館・文化伝承館・総合生涯学習プラザ等との連携を図る。 2男女共同参画課・センター事業への協力。 3生涯学習振興課との連携。	多様な主体の連携により、情報交換の場が広がり、充実した市民サービスへの一助となった。	現状維持（具体的な取組を行った）
				40. 広報女性版の発行	広報広聴課	休止した	広報女性版については、昭和49年に誕生し、やちよ農業交流センターや市内小学校などに協力してもらうなど、多様な主体との連携・協働により発行してきたが、女性目線で社会や生活について考えるという企画目的は達成されたと考え、平成30年1月15日号を最後に発行を休止した。 平成30年度は、今まで女性版を載せていたスペースに通常の特集記事を掲載。今年度も発行予定はなく、今後も必要性の有無や影響を検討し、特設問題がないと確認できれば廃止とする予定。	30年度発行実績なし。	未実施・休止・廃止
3 国際社会への理解と交流の推進									
		(1) 平和と国際社会への理解	① 国際社会を理解するための意識づくり	41-1. 国際社会を理解するための意識づくり (1)国際平和と作文コンクール	指導課	実施した	H30 ・応募総数3,320編(小学校 1,749編 中学校 1,571編) 一入選者 小学校:男子11人女子25人 中学校:男子8人女子16人 ・応募率 小学校 95.2% 中学校 88.5% H29 ・応募総数3,417編(小学校 1,780編 中学校 1,637編) 一入選者 小学校:男子11人女子24人 中学校:男子10人女子15人 ・応募率 小学校 93% 中学校 89.7% H28 ・応募総数3,165編(小学校 1,617編 中学校 1,548編) 一入選者 小学校:男子12人女子24人 中学校:男子12人女子12人 ・応募率 小学校 91.1% 中学校 82.8%	国際平和と作文コンクールは、小学生が課題DVDを見て考えたことを書き、中学生がDVDを見て、自分が地域に貢献していること、もしくはこれから自分が世界に貢献できる事を原稿用紙2枚に書いた。DVDを見た児童・生徒は世界に起きていることを知り、自分のできることは、何かを真剣に考えることができた。応募率も、平成28年度と比べ、小学校では、上昇傾向にある。	現状維持（具体的な取組を行った）
				42-1. 外国語指導助手による国際教育の推進 (1)外国語指導助手派遣事業	指導課	実施した	・英語の授業 H30小学校30回 H29小学校30回 H 28小学校30回 ・イングリッシュアワーを小学校3年生から6年生の希望者対象に、公民館で実施。(ALTと一緒に工作・調理など) ・英語教材の作成や教員研修へのALT参加 ・ALTの人数 H30 民間派遣10人 直接雇用6人 H29 民間派遣8人 直接雇用8人 H28 民間派遣7人 直接雇用7人	児童の外国の生活や文化・言語に対する興味を深め、国際社会を理解するための意識作りが図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）
				43. 情報の提供	男女共同参画課	実施した	下記の各種パンフレット・ポスターを男女共同参画センターに掲示し周知を行った。 ・13歳で結婚。14歳で出産。恋は、まだ知らない。 ・日本でも人身取引が。 ・気づいてください。日本での人身取引	センター来所者が限られているため、周知効果が低い。	現状維持（具体的な取組を行った）
				44-1. 外国人に対するコミュニケーション支援	総合企画課	実施した	・多文化交流センターにおいて在住外国人に対して通訳を配置し、各種相談、情報提供を行った。 平成30年度 計1,394人 男447人 女947人 平成29年度 計1,346人 男396人 女950人 平成28年度 計1,493人 ・同センター内及び市役所で2日間に渡り、小中学校の入学説明会の時期に合わせ学用品を展示し、外国籍の親や子どもに対し日本の学校制度についての説明会を行った。 平成30年度 計13組 平成29年度 計12組 平成28年度 計8組 ・多言語による生活情報メール配信を、毎月1～3回程度行った。 平成30年度 計288人 平成29年度 計276人 平成28年度 計191人	外国人に対して多言語で情報提供等を行うことによって、コミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持（具体的な取組を行った）
				44-2. 日本語の学習機会の提供	総合企画課	実施した	外国人へ市国際交流協会主催の日本語教室を案内するとともに、同教室の支援を行った。 平成30年度 大人向け9教室生徒数(延べ人数)2,297人 子ども向け1教室生徒数(延べ人数)395人 平成29年度 大人向け9教室生徒数(延べ人数)2,293人 子ども向け1教室生徒数(延べ人数)464人 平成28年度 大人向け9教室生徒数(延べ人数)2,159人 子ども向け1教室生徒数(延べ人数)484人	外国人に対し日本語学習の機会を提供し語学力の向上を促すことで、コミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持（具体的な取組を行った）
				44-3. 多言語による防災に関する情報提供	総合防災課	実施した	・多言語（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語版）パンフレットを支所などで外国人転入者に配布した。 ・市内小学校及び中学校に設置している防災倉庫に多言語カードを配置した。 ・多言語（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語）防災情報メールで災害情報の配信を行った。	パンフレットの配布等により、発災時に日本語に慣れていない外国人が防災情報を確認しやすい環境を整備した。課題として、総合防災訓練の際に、防災情報の多言語による提供について周知を行う必要がある。	積極的な推進が見られた
45. 外国人児童生徒の教育推進事業	指導課	実施した	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し教育相談を行うことができる者を派遣し、外国人児童生徒、保護者、教員等に対して、日本語指導や学習面・生活面の適応等の教育相談を実施した。 ・外国人児童生徒の相談者数 30年度:53人、29年度:45人、28年度:42人	相談体制の充実を図ることができた。	現状維持（具体的な取組を行った）				

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
II 共につくりだす									
3 国際社会への理解と交流の推進									
(2) 国際交流の推進	① 平和と国際社会への理解		① 国際社会を理解するための意識づくり	46. 多文化共生の地域づくり	総合企画課	実施した	多文化交流センターを活用し実施するアミーゴ子ども日本語教室及びオープンセサミ英語教室を支援した。 平成30年度 計1,194人 平成29年度 計1,326人 平成28年度 計1,451人	国際社会への理解を深めるとともに、外国人に対するコミュニケーション支援の充実を図った。	現状維持(具体的な取組を行った)
			① 国際交流関係団体との連携	47. 国際交流協会との連携	総合企画課	実施した	イベントにおける企画・運営や広報等のバックアップ、日本語教室等の会場確保、情報交換や課題の解決に向けた定例会議への参加等を行い、国際交流協会との連携を図った。また、八千代市国際交流協会補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、事業が円滑に実施されるよう支援を行った。 平成30年度 1,100,000円 平成29年度 1,329,072円 平成28年度 1,080,393円	事業の周知及び会場確保、補助金交付等を実施し、市民主体の交流支援の充実を推進することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
	② 交流機会の充実	48-1. 国際交流事業の充実 (1) 姉妹都市タイラー市との交流事業の支援	総合企画課	実施した	令和元年10月に八千代市親善訪問団が姉妹都市であるタイラー市を訪問するにあたり、親善訪問団派遣実行委員が立ち上げられ、一般市民の参加募集、タイラー市との連絡のやり取り及び旅程の調整等を行った。	八千代市親善訪問団のタイラー市訪問が円滑に進むよう調整を図った。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		48-2. 国際交流事業の充実 (2) こども親善大使の派遣、受け入れ事業	指導課	実施した	八千代こども国際平和文化基金事業であるタイ王国バンコク都への八千代こども親善大使の派遣と、バンコクこども親善大使の受け入れ事業を実施した。さらに、こども親善大使のOGOB会「ダイラックアン」国際交流活動を支援した。	バンコクこども親善大使受入れ、派遣とともに、国際交流の充実を図ることができた。 バンコクこども親善大使受入れ 平成28年度 バンコクこども親善大使10名・同行職員6名 平成29年度 バンコクこども親善大使10名・同行職員6名 平成30年度 バンコクこども親善大使12名・同行職員8名 八千代こども親善大使派遣 平成28年度 小学校5年生6名 中学校2年生4名 同行職員5名 平成29年度 中学2年生12名 同行職員7名 平成30年度 中学2年生12名 同行職員6名	現状維持(具体的な取組を行った)		
III 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(1) 職場における意識啓発と就労支援	① 企業・団体・公的機関及びその従業員に対する意識の啓発		49-1. 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	49-1. 職場における男女平等意識の啓発 (1) 男女平等の意識啓発	商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、男女平等に関する情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『労働条件に関する問題解決の第一歩』 『一歩から。社員いきいき！元気な会社宣言企業募集』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する	現状維持(具体的な取組を行った)
			50. 市職員への意識啓発	50. 市職員への意識啓発	職員課	実施した	・子育てや家族介護に関する休暇・給付制度等の資料の作成、周知を図った。 ・火曜日及び木曜日の終業時間に庁内放送を実施し、時間外勤務の抑制やワーク・ライフ・バランスの大切さを呼びかけた。	・子育て等に係る有給休暇の充実を図ったが、年次有給休暇の取得率が目標通り増えていない。 ・庁内放送の実施により、時間外勤務の抑制が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
			51. 相談機関等の情報提供	51. 相談機関等の情報提供	商工課	実施した	市ホームページ、国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、企業等に対して男女平等への認識を深めるための情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『女性活躍推進法への対応はお済みですか？』 『認定マーク「えるぼし」を取得して、優秀な人材を確保』 『働きながらお母さん・お父さんになる皆様へ』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)
			52. 家族経営協定の締結促進	52. 家族経営協定の締結促進	農政課	実施した	女性や後継者等が果たす役割を適正に評価し、積極的に経営に参画できるよう、県等と連携を図りながら家族経営協定の締結を促進した。 ・家族経営協定締結数 30年度 28件、29年度 28件、28年度 28件	家族経営協定の締結数は変わらなかったが、次年度以降の締結に向け、県等の関係機関と連携して支援することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
			53-1. 講座の開催 (1) 女性農業従事者を対象とした講座等の開催	53-1. 講座の開催 (1) 女性農業従事者を対象とした講座等の開催	農政課	実施した	やちよ農業交流センターにて、女性農業従事者を対象として実施している「やちよ農と食の学び舎」で講習及び視察を行った。 ・(視察)参加者数 30年度 16人、29年度 18人 ・麴を使った料理研修 30年度 10人 ・野菜作りの基本について講義 30年度 8人 ・旬の野菜の料理研修 30年度 6人 ・少量の麴作り 30年度 10人 ・揚げ芋作り 30年度 7人 ・スティック芋作り 30年度 9人 ・麴作り 30年度 12人(5回) ・味噌作り 30年度 18人(2回) ・干し芋作り研修 30年度 4人 ・これからの野菜作り講義 30年度 14人 ・色彩を学ぶ講義 30年度 15人	女性農業従事者の意識啓発と就労支援につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)
54-1. 女性リーダーの育成 (1) 女性指導農業士及び農業士等の育成	54-1. 女性リーダーの育成 (1) 女性指導農業士及び農業士等の育成	農政課	実施した	・新たな女性農業士・指導農業士の認証に向け、県との協議により対象者等の検討を行った。 ・農業後継者の育成活動及び農業者の社会的評価の向上活動を行っている八千代市農業士等協会の視察研修会、情報交換会の場で県と協力し意識啓発を行った。 ・八千代市農業士等協会役員数 30年度 男 5人・女 1人 指導農業士数 29年度 男 5人・女 1人 30年度 男 15人・女 2人 28年度 男 4人・女 2人 29年度 男 15人・女 2人 農業士数 30年度 男 14人・女 3人 29年度 男 12人・女 3人 28年度 男 12人・女 3人	前年度に引き続き女性が監事を務めることとなった。今後女性農業士及び女性指導農業士を増やすよう県と協議を進めていく。	現状維持(具体的な取組を行った)			

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価	
Ⅲ 自分らしく生きる										
1 働く場における男女共同参画										
(1) 職場における意識啓発と就労支援	③ 農業に従事する女性の地位向上のための意識づくり		54-2. 女性リーダーの育成 (2) 女性農業者団体への支援		農政課	実施した	若手女性農業者組織のJA八千代市フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部の活動に対して県と連携し、同倶楽部からの依頼に応じて講習会等に参加した。 ・同倶楽部総会出席回数 30年度 1回、29年度 1回、28年度 1回 ・同倶楽部視察研修同行回数 30年度 0回、29年度 1回、28年度 1回 ・同倶楽部講習会等参加回数 30年度 1回、29年度 1回 ※指標の表記は昨年度は「総会実施回数」「視察研修実施回数」「料理研修実施回数」であったが、市の主催ではないため表記を上記のとおり改めた。また、料理研修はH30年度は寄せ植え講習会だったため、表記を改めた。	県と連携してサポートを行い、女性農業者の専門知識の向上、意識啓発につなげることができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			55. 農業部門における政策や方針決定の場への女性の登用促進		農政課	実施した	28年度から29年度に八千代市農業士等協会の会長が女性から男性に交代したことに伴い、会長の任期が2年間であることから、30年度も引き続き農業政策の諮問機関である八千代市農政審議会の女性委員の割合が2割となった。 ・八千代市農政審議会委員数(男・女) 30年度 男 8人・女 2人 29年度 男 8人・女 2人 28年度 男 7人・女 3人	女性委員の割合が下がってしまったが、引き続き女性の推薦枠を確保し、女性委員割合目標値の35%を目指していきたい。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	① 男女の職域拡大		56. パンフレット等による情報提供		商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『働きながらお母さん・お父さんになるみなさまへ』 『保育園などに入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります!』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			57. 消防本部における女性の職域拡大		消防総務課	実施した	・消防職員採用説明会を実施し、女性職員の募集を図った。 H30年度(男47人・女1人) H29年度(男51人・女4人) H28年度(男31人・女2人) ・消防職員採用に伴う学校訪問を行い、女性職員の募集啓発を行った。 H30年度(大学11校・高校11校・専門1校) H29年度(大学13校・高校13校・専門1校)	消防職員採用試験において、女性1名が受験し1名の職員を採用。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			58. シルバー人材センターへの支援		長寿支援課	実施した	就労意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、運営費の補助等により、シルバー人材センターの運営を支援した。 ・会員数(男女) 30年度 男518人・女113人 29年度 男515人・女98人 28年度 男544人・女104人 ・年間就業者数(男女) 30年度 男468人・女90人 29年度 男494人・女80人 28年度 男510人・女82人	・運営費の補助をすることにより、本人の希望を尊重して男女の区別なく、就労の機会及び社会参加を促進することができた。 ・65歳定年時代を迎え高齢者雇用が推進される中、シルバー人材センターの会員数については、会員数の拡大に向けた取り組みが課題となっている。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
		(2) 就労による経済的自立の支援		59. 職業相談・情報提供の実施		商工課	実施した	・就業支援として、国の機関である地域職業相談室の維持に努めた。 ・ハローワークとの共催で、企業と求職者の個別面談の機会を設ける『八千代市地域職業相談室ミニ面接会』を実施した。 相談件数(件) 28年度 29年度 30年度 5,664 7,512 6,582 八千代市地域職業相談室ミニ面接会(回) 28年度 29年度 30年度 112 1 2	職業に関する相談及び情報提供機能が充実している。	現状維持 (具体的な取組を行った)
				60. 技術講習会への参加の啓発		商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、企業及び労働者に対して情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『再就職・キャリアアップを目指す女性を応援します』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持 (具体的な取組を行った)
				61. 女性の就労支援		男女共同参画センター	実施した	女性を対象にした各種講座を開催した。 ・千葉県よろず支援拠点・商工課と協力して、起業支援講座を開催。 「女性のための創業セミナー1 好きを仕事に! ~未来を描く創業セミナー」 9月20日(木) 参加人数 H30 22人、H29 20人、H28 23人 「女性のための創業セミナー2 伝わるチラシのつくりかた」 10月4日(木) 参加人数 H30 24人(H29実施なし) ・税理士による扶養控除・確定申告講座を開催し、扶養を出て働いた場合の税制上の知識を提供することで、就労意欲を持つきっかけにつなげた。 6月29日(金) 参加人数 H30 30人(H29実施なし) ・家庭と両立させるキャリアプランの立て方、応募書類の書き方などについて学ぶ講座を実施。 7月5日(木)・6日(金) 参加延べ人数 H30 35人(保育4人)、H29 人(保育5人)、H28 21人(保育1人) ・祖父母を対象に孫との関わり方の講座を開催することで、女性の就労支援の手助けとなるようにした。孫育講座「これから孫を預かる人へ」 2月20日(木) 参加人数 H30 13人、H29 16人(H28実施なし)	女性の経済的自立に繋がっている。	積極的な推進が見られた

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
1 働く場における男女共同参画									
(2) 就労による経済的自立の支援	③ 女性の生涯を通じた能力開発支援	62. 市職員の人員の配置	職員課	実施した	職場において、女性と男性が均等な機会を与えられ、女性の意欲と能力を十分に発揮することを配慮した人員の配置を行った。性別の区別なく、個々の能力により主査相当職や副主査相当職への昇格を行った。 平成31年4月1日現在女性副主査相当職人数(125人) 単位 28年度 29年度 30年度 人 59 42 38 平成31年4月1日現在女性主査相当職人数(総数239人) 単位 28年度 29年度 30年度 人 98 84 77	部局により、男女比のばらつきが発生している。また、産休・育休者への対応が課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			男女共同参画課	実施した	「男女共同参画だより やちよべあ」No.37に、育児・介護休業法の改正内容や、男性の育児休業取得に関する内容を掲載し、「男女共同参画社会形成に向けた事業所調査」と同封して市内事業所に送付した。	市内事業所への情報提供ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
	(3) 多様な働き方への支援	① 育児・介護休暇等制度、再雇用特別措置等の啓発	63. 子育て、介護と仕事との両立のための制度等の周知	商工課	実施した	国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、育児休業制度等の情報を提供した。 【設置チラシ】 タイトル 『働きながらお母さん・お父さんになる皆様へ』 『保育園などに入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります!』 『パパの育児休業を応援します』	必要な人に必要な情報を提供できた。 より多くの人に情報を提供できるよう周知方法を検討する。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				男女共同参画課	実施した	「男女共同参画だより やちよべあ」No.37に、女性活躍推進に関する内容を掲載し、「男女共同参画社会形成に向けた事業所調査」と同封して市内事業所に送付した。	女性も含め、誰もがワークライフバランスが取れるような職場づくりに向けた意識啓発ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
		② 労働時間短縮の啓発	64. 労働時間短縮に関する情報の提供	商工課	実施した	・国及び県等からのチラシを窓口に掲示し、ワークライフバランスに関する情報を提供した。 ・船橋市との共催で、ワークライフバランスに関する『事業者向け雇用対策セミナー』を実施した。 【設置チラシ】 タイトル 『働き方改革を支援します』 『働き方改革関連法に関するハンドブック』 『一歩から。社員いきいき! 元気な会社宣言企業募集』 労働講演会(回) 28年度 29年度 30年度 0 1 1	・来庁者に対して、国及び県等の情報を提供できた。 ・他市と連携し、ワークライフバランスに関する意識啓発を図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				男女共同参画課	実施した	「男女共同参画だより やちよべあ」No.37に、マタニティハラスメント防止に関する内容を掲載し、「男女共同参画社会形成に向けた事業所調査」と同封して市内事業所に送付した。	市内事業所への情報提供ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
③ 企業・事業主に対する母性保護の啓発	65. 母性保護に関する啓発活動の実施	商工課	実施した	国及び県等からのパンフレットを窓口に掲示し、企業及び労働者に対して母性保護に関する情報を提供した。 【設置パンフレット】 タイトル 『こんなときは労働委員会をご利用ください』 『会社がつくる保育園 新たな助成制度がはじまります』	来庁者に対して、国及び県等の情報を提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
		男女共同参画課	実施した	「男女共同参画だより やちよべあ」No.37に、マタニティハラスメント防止に関する内容を掲載し、「男女共同参画社会形成に向けた事業所調査」と同封して市内事業所に送付した。	市内事業所への情報提供ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
2 家庭における男女共同参画									
(1) 家事・育児への共同参画	① 家事・育児への意識啓発と学習機会の充実	66-1. 子育て体験学習の推進(1)パパとママの子育て教室	母子保健課	実施した	夫婦で子育てをする意識を啓発するために、沐浴実習やパパ同士・ママ同士の座談会をメインとした子育て教室を開催した。 ・開催回数 30年度 12回 29年度 12回 28年度 12回 ・参加者数 30年度 パパ 239人 ママ 248人 29年度 パパ 226人 ママ 234人 28年度 パパ 216人 ママ 220人 赤ちゃんと生活するイメージができた人の割合 30年度 パパ 97.5% ママ 99.6% 29年度 パパ 96.5% ママ 98.7% 28年度 パパ 95.4% ママ 99.5% ・赤ちゃんのお世話の方法がイメージできた人の割合 30年度 パパ 98.7% ママ 100% 29年度 パパ 98.7% ママ 100% 28年度 パパ 98.1% ママ 99.5% ・夫婦で協力して子育てする大切さを感じた人の割合 30年度 パパ 98.3% ママ 99.6% 29年度 パパ 99.6% ママ 98.7% 28年度 パパ 99.1% ママ 98.2%	事業後の参加者アンケートより、家事・育児への共同参画意識を啓発する機会となっており、概ね目標を達成できたと考える。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			生涯学習振興課(公民館)	実施した	18千代台公民館「基礎から始める男の料理教室」(全3回)延べ参加人数 30人 2緑が丘公民館「男の料理教室」参加人数 8人	家事を男女問わず行うことへの意識作りと共に、男性が料理を通じ家事を身に付け、家事への男性参加の促進をしていきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)		
	① 介護への意識啓発と学習機会の充実	68. 家族介護者支援の実施	健康づくり課	実施した	家族介護者の介護負担の軽減を目的に当課では下記の3事業を開催した。 1)「身体に負担をかけないための介護について学ぶ講座」 平成30年度:1回、参加者数:34人(男:4人、女:30人) 平成29年度:1回、参加者数:30人(男:3人、女:27人) 平成28年度:1回、参加者数:28人(男:4人、女:24人) 2)介護をする家族のための交流会 平成30年度:1回、参加者数:7人(男:2人、女:5人) 平成29年度:1回、参加者数:10人(男:3人、女:7人) 平成28年度:1回、参加者数:8人(男:4人、女:4人) 3)口腔ケア研修会 平成30年度:1回、参加者数:34人(男:7人、女:27人) 平成29年度:1回、参加者数:30人(男:5人、女:25人)	当市における要介護認定者数は増加傾向にあり、これに伴って家族介護者も増加していると推察される。当課の取り組みは、介護を1人で抱え込まないためにも必要な取り組みであると考え、今後も男女ともに介護について学ぶ機会を提供できるよう取り組む。	現状維持(具体的な取組を行った)		

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
2 家庭における男女共同参画									
	(2) 介護への共同参画	① 介護への意識啓発と学習機会の充実	69. 高齢者の介護や虐待に関する講座の実施	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した	認知症サポーター養成講座や、高齢者福祉に関する講座(まちづくりふれあい講座・高齢者の身近な相談窓口の紹介等)を行った。 ・認知症サポーター養成講座(まちづくりふれあい講座で実施した分含む) H30年度: 25回 延べ786人(うち、大和田地域包括支援センター6回延べ229人) H29年度: 25回 延べ656人(うち、大和田地域包括支援センター9回延べ325人) H28年度: 21回 延べ591人(うち、大和田地域包括支援センター8回延べ275人) ・高齢者福祉に関する講座(まちづくりふれあい講座) H30年度: 5回 延べ206人(うち、「認知症サポーター養成講座」実施2回延べ71人【再掲】) H29年度: 10回 延べ284人(うち、「認知症サポーター養成講座」実施5回延べ119人【再掲】) H28年度: 7回 延べ231人(うち、「認知症サポーター養成講座」実施2回延べ79人【再掲】)	男女の別なく、認知症の方への対応や高齢者福祉等に関する学習の機会が提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
	① 学習機会の整備・拡充		70-1. 生涯学習活動の推進(1)まちづくりふれあい講座	生涯学習振興課	実施した	市民等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講座を行うことで、市民の学習活動を支援した。また講座一覧を掲載したパンフレットを作成し、配布及び市ホームページにて周知を図った。	市民に学習機会の情報を提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			71. 講座等の開催やグループ活動への支援	男女共同参画センター	実施した	・登録団体への施設貸出や情報提供を行った。 ・支援団体の広報紙などをセンター内に配架した。 ・女性学講座を支援団体「らいてうの会」との共催で行った。	男女共同参画に関する学習機会を充実させることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			71-1. 講座等の開催やグループ活動への支援(1)市民文化祭の開催、文化団体活動の支援	文化・スポーツ課	実施した	市内を中心に活動する文化団体・21団体、市内学校・5校、各公民館・9館を中心に35団体による市民文化祭を開催した。 平成30年度 平成29年度 平成28年度 参加者 10,608人 10,394人 11,727人 観覧者 37,996人 40,548人 41,642人	過去2年間と比較すると、参加者数は若干増加しているが、観覧者数は減少している。参加者数や参加団体の募集活動に努める等、参加者数等を増やすための工夫をしていく必要がある。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			71-2. 講座等の開催やグループ活動への支援(2)講座等の開催、サークルの支援	生涯学習振興課(公民館)	実施した	1主催講座の開催 207講座 参加延べ人数 9,818人 2公民館まつりの実施 来場者総数 7,405人 3登録サークルの支援 サークル数 348サークル 会員数 5,352人 利用延べ人数 96,596人	学習機会の整備・拡充が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			72. 図書館ネットワークの活用	生涯学習振興課(図書館)	実施した	図書館ネットワークにより、中央図書館を中心として資料・情報の共有化を図り、利用者に向けた情報提供及び情報発信に努めた。	学習機会の整備・拡充が図れた。今後も利用者のニーズに応じられるよう、ネットワークの活用を行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)	
	② 子ども連れで行くことができる学習機会の整備			子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	地域子育て支援センター及び子ども支援センターすてっぷ21大和田・勝田台における講座開催時等に地域ボランティアの協力により一時保育を実施し、子ども連れでの参加がしやすい環境整備を行った。 ・「みんなで食育」開催実績 H30 22回実施 参加者169人(保育人数 116人、ボランティア 58人) H29 31回実施参加者326人(保育人数177人、ボランティア56人) ・子育てワークショップ「おしゃべり広場」開催実績 H30 15回実施 参加者63人(保育人数 76人、ボランティア 57人) H29 22回実施 参加者98人(保育人数115人、ボランティア87人)	講座開催時等における一時保育の実施により、子ども連れでも参加しやすい環境整備の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				73. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用	男女共同参画センター	実施した	下記の講座の実施時に、一時保育を準備した。 ・子育て世代のライフ＆マネープラン 6月9日(土) 参加者 23人、保育 5人 ・女性活躍応援セミナー(全3回) 6月29日(金)、7月5日(木)・6日(金) 延べ参加者数 65人、保育 8人 ・女性のための創業セミナー(全2回) 9月20日(木)、10月4日(木) 延べ参加者数 46人、保育7人	子ども連れでも講座に参加できる環境を整備できた。	現状維持(具体的な取組を行った)
					生涯学習振興課(公民館)	実施した	家庭教育講座や親子学級を実施する際、保育士を依頼して一時保育を行ったり、職員及び臨時的任用職員が子どもの世話をするなど、保護者が安心して参加できるように学習機会の充実を図った。また、親子で参加できる主催講座を企画し、親子のコミュニケーションの充実を図った。 H28一時保育の人数 男2名・女3名 H29一時保育の人数 0名 H30一時保育の人数 0名	子ども連れでも学習できる機会を提供できた。	現状維持(具体的な取組を行った)
					生涯学習振興課(図書館)	実施した	・はじめての絵本コーナーを充実させ、赤ちゃん向けの絵本選びがしやすい環境を整えた。 ・保護者向けの子育ての本を集めた子育てコーナーを充実させ、子ども連れで利用しやすい環境を整えた。	子ども連れでも利用しやすい環境を整備した。	現状維持(具体的な取組を行った)
				73-1. 子ども連れで行くことができる施設の整備、活用(1)図書館における児童サービスの充実、利用促進	生涯学習振興課(図書館)	実施した	・0~1歳向け、2~3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会を開催した。 ・児童向けのイベントを各館で開催した。(図書館クイズ、映画会等)	子ども連れで行ける施設の活用が図れた。今後も対象者に合わせたサービスを実施していきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
Ⅲ 自分らしく生きる									
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備									
(2) 生きがい対策の推進	① 地域活動への参加の促進			74-1. 高齢者の生きがい対策の充実 (1) 単位老人クラブ、長寿会連合会の運営費補助	長寿支援課	実施した	老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブ及び長寿会連合会への補助金を交付した。 補助金 ・単位老人クラブ分 4,341,000円 ・長寿会連合会分 2,992,000円 ・会員数 30年度 男 1,148人 女 1,701人 29年度 男 1,168人 女 1,645人 28年度 男 1,156人 女 1,753人	高齢者の社会参加と生きがい対策の充実を図ることができた。新規会員の獲得が課題である。	現状維持(具体的な取組を行った)
				74-2. 高齢者の生きがい対策の充実 (2) 連合会主催事業運営協力	長寿支援課	実施した	八千代市長寿会連合会主催の各事業の運営に対し、求めに応じて協力している。今年度は八千代市長寿会連合会主催の各イベントに出席した。	今後も要望があれば対応していく。	現状維持(具体的な取組を行った)
				74-3. 高齢者の生きがい対策の充実 (3) ふれあい大学校運営	長寿支援課	実施した	一般教養コース及び健康福祉コースにて延べ年間52回の授業を提供し、154人の卒業生を輩出した。 卒業生数 一般教養コース計74人(男:32人・女:42人) 健康福祉コース計80人(男:30人・女:50人)	高齢者が新しい知識と教養を身につけるとともに広く仲間づくりを回り、高齢者の文化的活動等への参加を促進し、高齢者の生きがい対策の充実を図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				74-4. 高齢者の生きがい対策の充実 (4) 高齢者学習グループ支援、育成	生涯学習振興課	実施した	市内在住の20人以上の60歳以上の方で構成するグループを高齢者学習グループとして登録し、学習活動に活用していただくために、まちづくりふれあい講座のパンフレットの送付等を行い、学習活動の支援を行った。	高齢者学習グループの学習活動を支援することができた。周知方法について検討したい。	現状維持(具体的な取組を行った)
				75-1. ボランティアの指導力の活用 (1) ふれあい教室	生涯学習振興課	実施した	わら工芸、紙工芸、折り紙、囲碁、菊づくり、日本の伝統文化と江戸しぐさ、長寿会交流(昔遊び)の7つのボランティア団体を、市内の小・中学校や学童保育所、幼稚園、保育園等に派遣し、世代間や地域間での交流の場を提供した。	世代間や地域間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。	現状維持(具体的な取組を行った)
				75-2. ボランティアの指導力の活用 (2) 伝承文化支援活動	文化・スポーツ課(文化伝承館)	実施した	「ゆいの会」などのボランティア団体に協力してもらい、下記の事業を行った。 「昔遊び事業」竹とんぼ、ペーゴマ、けん玉など昭和期の昔懐かしい遊びを体験してもらい、次世代へ継承していく。5・10・3月に伝承館で実施。その他、市川学園八千代幼稚園などのへ支援も行った。 延べ参加人数 H28:120人 H29:118人 H30:133人 「物づくり事業」昔懐かしい遊び道具などの作り方を習得する。H30年度は兜、水鉄砲、竹細工、正月飾り、凧、お雛さまを作成した。 延べ参加人数 H28:101人 H29:193人 H30:243人 「昔遊び」と「物づくり事業」のボランティアスタッフは「ゆいの会」。 H28年24人(男9、女15) H29年13人(男3、女10) H30年21人(男5、女16) 「紙芝居と昔話の会」 八千代市の昔話を素材として館が作成した紙芝居を見たり、絵本の昔話を聞いたり、読んだりする。毎月第1・3水曜日に開催。 延べ参加人数 H28年388人 H29年324人 H30年449人 ボランティアスタッフは4人(男2、女2)	それぞれの事業への参加者が、前年度までに比べて増加しており、事業の周知・事業への理解が進み、学びを通じた心のふれ合いを図ることができた。課題は、ボランティアスタッフの高齢化と会員数の減少。	現状維持(具体的な取組を行った)
				76-1. 学習成果発表の場の提供 (1) 市民文化祭の開催	文化・スポーツ課	実施した	市民文化祭のポスターを1,000部を作成するとともに、リーフレットを2,500部作成した。また、広報やちよ・ホームページへの記事の掲載と合わせ、やちよイベント情報メールを配信し、広報活動に努めた。また、ポスターを見て興味を持っていただいた人にリーフレットを配布した。	学習の成果を活かす機会を提供でき、生きがいにつながっている。また、周知を積極的に行い、参加者を増加させる。	現状維持(具体的な取組を行った)
				76-2. 学習成果発表の場の提供 (2) 公民館まつりの開催	生涯学習振興課(公民館)	実施した	公民館まつりは、それぞれのサークルが普段の学習の成果を発表し、その成果を地域に還元することを目的としている。各公民館、サークル連絡会との共催で開催することができた。 参加サークル数 334サークル	学習の成果を活かす機会が提供でき、生きがいにつながっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				77-1. 学習成果の活用 (1) スポーツ指導員認定講習会	文化・スポーツ課	実施した	各種スポーツのスポーツ指導員養成を目的とする講習会を開催した。 実施日:平成31年2月2日、9日 会場:総合生涯学習プラザ多目的ホール 内容:1 スポーツフォーラム「やる気を科学する」 2 スポーツセミナー「バラスポーツを体験しよう」 参加者数:平成30年度 193人 平成29年度 207人 平成28年度 183人	スポーツを指導するうえで必要となる知識を取得し、本市のスポーツ指導員の資質が向上することにより、スポーツに関わる一人ひとりの生きがいや、地域活動に寄与している。 この講習会の新規参加者は、少年野球とミニバスケットボールの2種目からの参加者が多いが、子どもの成長とともに指導者も入れ替わるため、指導員としての定着率が低くなっていることや、毎年参加している更新希望者の高齢化が進んでいることが課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				77-2. 学習成果の活用 (2) 青少年団体指導者養成講座の開催	青少年課	実施した	青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」全5回を開催した。平成29年度から働いている人達も受講しやすいように、開催日を木曜日から土曜日に変更した。青少年健全育成に必要な知識と技術を身に付けることを支援し、青少年団体の指導者としての資質向上につなげた。	消耗品の提供や備品の貸出及び指導者の講習会・研修会の実施により、子どもたちが地域のボランティアの指導のもと、生活・社会・自然等の様々な体験ができるような場や機会を提供した。また、それぞれの団体をもつ知識や情報を共有する場を設ける等の連携強化に努めた。	現状維持(具体的な取組を行った)

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価																																																			
Ⅲ 自分らしく生きる																																																												
3 多様な生き方を選ぶための条件の整備																																																												
	(2) 生きがい対策の推進	② 学習の成果をいかす機会の提供	77-3. 学習成果の活用 (3) 縄文土器づくり講座、竹細工講座、篆刻(てんこく)講座の開催		教育総務課(郷土博物館)	実施した	・縄文土器づくり講座: 八千代土器づくり同好会と連携して実施。受講生の作品も出品した「縄文土器づくり講座作品展」を併せて開催。 見学者1,315名 受講生数 30年度 47人、29年度 17人、28年度 56人 ・竹細工講座: 竹細工同好会と連携して実施。会員の作品を展示した「竹細工講座作品展」を併せて開催。 見学者1,263名 受講生数 30年度 40人、29年度 22人、28年度 29人 ・篆刻講座: 篆刻同好会と連携して実施。会員の作品を展示した「篆刻講座作品展」を併せて開催。 見学者393名 受講生数 30年度 30人、29年度 38人、28年度 31人	それぞれの講座受講生を中心として同好会が組織され、博物館との連携を深め、博物館主催講座の講師として、また同好会会員による年度活動の成果披露の場としての作品展も充実してきている。学習成果を生かす機会の提供ができ、事業の推進が図れた。30年度も、博物館主催講座の受講生の中には、同好会に入会した者もあり、地域活動の拡大支援も充実している。	現状維持(具体的な取組を行った)																																																			
	(3) 男性の多様な生き方への条件整備	① 男性の日常生活支援 ② 女性の参画が少ない分野への参画推進	78. 男性のための講座等の実施 79. 男性の多様な分野への参画の支援		生涯学習振興課(公民館) 男女共同参画センター	実施した 実施した	・高齢者学級 8講座 参加者数 158人(うち男性の参加者数 30人) 八千代台公民館(男性限定)「基礎から始める男の料理教室」 参加者数 11人 ・緑が丘公民館(男性限定)「男の料理教室」 参加者数 8人 ・男性を対象に、家事や上手なコミュニケーションの取り方、地域の施設めぐりなど様々な学習をする講座を実施。 「男の雑学塾(全6回)」9月28日(金)、10月12日(金)・26日(金)、11月8日(金)・30日(金)、12月12日(水) 延べ参加人数 H30 126人、H29 126人、H28 61人	日常生活における、男性の多様な生き方への条件整備につなげたい。また、地域におけるの仲間づくりの一助としたい。 男性の参画が少ない家事の基本的な技術の習得を図り、地域での仲間作りの支援と地域活動への参画意識の啓発を行った。	現状維持(具体的な取組を行った) 積極的な推進が見られた																																																			
Ⅳ 健やかに暮らす																																																												
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進																																																												
	(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組む仕組みづくり	80. 地域組織活動の支援 81-1. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (1) 市民体力テスト 81-2. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (2) 市民レクリエーション大会 81-3. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (3) ニューリバーロードレーsin八千代		健康づくり課 文化・スポーツ課 文化・スポーツ課	実施した 実施した 実施した	・やちよ元気体操の普及と住民主体の健康づくりを推進する人材を育成するため「やちよ元気体操応援隊(以下、応援隊)養成講座」を実施。また、応援隊が実施する体操グループに対し活動支援を行った。 数値実績: 応援隊の登録数/体操グループ数 H30: 513人(男71 女442)/90グループ H29: 423人/75グループ H28: 382人/65グループ ・食をきっかけとした住民主体の健康づくりを推進した。低栄養予防と男性の地域活動促進を目的に料理経験が少ない高齢男性を対象とした「男の料理塾 全6回」をH29年度より開催し、卒業生による自主グループが発足するように働きかけた。 数値実績: 男の料理塾の卒業生による自主グループ数 H30: 2グループ H29: 1グループ 実施日: 平成30年6月16日(土) 会場: 八千代総合運動公園市民体育館 目的: 自分自身の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得る。 (1) 体力テスト会 1 64歳以下: 握力、上体おこし、長座体前屈、反復横とび、立ち幅跳び、20mシャトルラン 2 65歳以上: 握力、上体おこし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行 (2) ロコモ度テスト会 立ち上がり、2ステップ ※ 20歳以上 実施期間: 平成30年10月2日 ~ 平成30年11月20日 実施場所: 総合運動公園市民体育館、多目的広場、総合生涯学習プラザ、オスカークゴルフ公園等 実施種目: グラウンドゴルフ、インディアカ、ターゲットバードゴルフ、レクダンス、地域散策、パークゴルフ 本大会は、競技力の向上、住民の体育・スポーツ意識の高揚と健康の増進、体力向上を図るとともに、スポーツイベントによる地域の振興・活性化と市民並びに参加者の親睦と融和を図ることを目的に開催している。一人ひとりの体力に合わせ気軽に参加できるよう、レース種目(距離)と部門(年齢・性別)を多く設定している。 ・会場: 八千代総合運動公園多目的広場(メイン会場) ・参加者数: 平成30年度 4,484人 平成29年度 5,461人 平成28年度 5,082人	・応援隊養成講座の実施と体操グループへの活動支援により、応援隊の登録者数や体操グループは増加した。その成果は参加者の筋力や体力が向上するだけではなく、住民同士の交流や生きがいづくりにも繋がっており、今後も体操グループが少ない地域への働きかけを行う。 ・食をきっかけとした住民主体の健康づくりについては、男の料理塾を経て自主グループを発足させることができた。しかし、これまでは保健センターのみで開催していた為、3年目となる令和元年度は公民館と共同開催し、公民館で自主グループが発足できるよう働きかける。 体力テストを実施することにより、市民の健康や体力の維持増進についての意識が高まり、健康づくりに取り組むきっかけ作りが出来た。今後は、広報活動を積極的に行うことで参加者の更なる増加を図っていきたい。	積極的な推進が見られた 現状維持(具体的な取組を行った)																																																			
							<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">参加者数</th> <th rowspan="2">スタッフ数</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>36</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>56</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>53</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラウンドゴルフ大会 参加者数</td> <td>136</td> <td>128</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>インディアカ大会 参加者数</td> <td>230</td> <td>245</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>ターゲットバードゴルフ大会 参加者数</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>レクダンス大会 参加者数</td> <td>44</td> <td>51</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>やちよ歩こう会 参加者数</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ大会 参加者数</td> <td>44</td> <td>32</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>		参加者数			スタッフ数	男	女	計	平成30年度	17	19	36	30	平成29年度	28	28	56	27	平成28年度	29	24	53	15	大会名	平成30年度	平成29年度	平成28年度	グラウンドゴルフ大会 参加者数	136	128	155	インディアカ大会 参加者数	230	245	270	ターゲットバードゴルフ大会 参加者数	22	22	19	レクダンス大会 参加者数	44	51	53	やちよ歩こう会 参加者数	27	28	25	パークゴルフ大会 参加者数	44	32	36	レクリエーション活動を通じて、生涯スポーツ・生涯学習の振興と地域レクリエーション活動の活性化を図った。 新規に参加した市民を定期的な生涯スポーツ活動に勧誘する等の積極的な取り組みもみられるが、参加者が固定してしまっていることが課題点と考えられる。	現状維持(具体的な取組を行った)
	参加者数			スタッフ数																																																								
	男	女	計																																																									
平成30年度	17	19	36	30																																																								
平成29年度	28	28	56	27																																																								
平成28年度	29	24	53	15																																																								
大会名	平成30年度	平成29年度	平成28年度																																																									
グラウンドゴルフ大会 参加者数	136	128	155																																																									
インディアカ大会 参加者数	230	245	270																																																									
ターゲットバードゴルフ大会 参加者数	22	22	19																																																									
レクダンス大会 参加者数	44	51	53																																																									
やちよ歩こう会 参加者数	27	28	25																																																									
パークゴルフ大会 参加者数	44	32	36																																																									
							参加者の1人ひとりが自分のペースで走れること、また、ゴールした達成感を得ることで、体力の維持増進の関心を高めることが出来た。	現状維持(具体的な取組を行った)																																																				

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	① 市民が主体的に健康づくりに取り組む仕組みづくり	81-4. スポーツ、レクリエーション事業の実施 (4)ウオーケラリー大会	文化・スポーツ課		実施した	家族・友人・知人同士がコマ図を見ながら新旧町並みの歴史や文化に触れ、八千代中央駅から萱田町や高津を經由して八千代台文化センターに至る全長8.5kmのコースを親しく和やかに力を合せてゴールを目指した。 実施日 平成30年10月27日(日) 参加者数:平成30年度 102人 平成29年度 162人 平成28年度 192人	一人ひとりの体力に合わせ、市内の様々な景色を眺めながらマイペースでウォーキングすることで、市民の健康及び体力向上の意識を高めることが出来た。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			健康づくり課	実施した	・がん検診のお知らせを健康づくり課の講座や母子保健課主催で実施する講座で周知した。 ・小学生(5・6年)、中学生(全学年)の保護者宛てにがん検診の受診勧奨に関するチラシを配布した。また、乳がん検診の対象年齢に該当する人(41歳)に無料で受けられるクーポン券を、子宮がん検診前年度未受診の30代奇数年齢の人に受診勧奨のはがきをそれぞれ送付した。 ・電話相談・来所相談において、必要に応じて医療機関及び相談窓口として更年期外来や千葉県「女性のための相談窓口」等の情報提供を行ったほか、がん集団検診時にチラシを設置し、相談機関の周知を行った。 1小中学生保護者向けチラシ配布数 30年度 8,758件、29年度 8,909件、28年度 9,067件 2乳がん検診クーポン券送付数 30年度 1,421件、29年度 1,434件、28年度 1,563件 3子宮がん検診受診勧奨はがき送付数 30年度 4,499件、29年度 4,380件、28年度 未実施 4女性の健康に関する相談件数(電話・来所) 30年度 16件、29年度 1件、28年度 4件	女性のがん検診の受診勧奨を通じて、自分の健康に関心を持つことができるよう支援することができた。相談件数が少ないが、適宜情報提供を行っており、女性の健康の保持増進対策を推進した。今後も電話や来所相談等のPRを行い、周知を図っていく。女性の健康づくりの推進については、がん検診の受診率等のデータや市民からの要望等を考慮し、ニーズに応じて内容を検討していく。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		健康づくり課	実施した	40歳以上の八千代市国民健康保険加入者及び生活保護受給者、並びに後期高齢者医療制度加入者に受診券を個別送付した。その後健診結果から特定保健指導対象者に利用券を送付した。 ・特定健康診査及び健康診査受診券送付数 30年度 男24,589人 女29,244人 29年度 男24,770人 女29,197人 28年度 男25,387人 女29,758人 ・特定健康診査及び健康診査受診者数 30年度 男6,904人 女8,835人 29年度 男6,599人 女8,448人 28年度 男6,786人 女8,482人	受診率向上対策として、受診券個別送付、千葉県国民健康保険団体連合会への支援依頼(電話による受診勧奨)、はがきによる受診勧奨並びに集団健診を実施した。平成30年度は利便性を考慮して集団健診の実施会場を追加して対応した。	現状維持(具体的な取組を行った)			
		健康づくり課	実施した	がん検診の受診券及び案内を年齢や性別に応じた対象者に個別送付し各種がん検診を実施した。 厚生労働省の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」として、対象者にクーポン券及びがん検診手帳を送付し、検診に関する知識の普及と受診勧奨を実施した。 がん検診の精密検査結果未把握について、八千代医療センター及び一次医療機関に確認することで精密検査の受診勧奨と結果把握に努めた。 ・胃がん検診受診者数 30年度 男5,299人 女7,627人 29年度 男5,286人 女7,656人 28年度 男6,084人 女8,530人 ・乳がん検診受診者数(女性のみ) 30年度 7,129人 29年度 6,574人 28年度 7,430人 ・肺がん検診受診者数 30年度 男8,001人 女12,127人 29年度 男7,730人 女11,883人 28年度 男7,953人 女12,019人	広報、ホームページ、やちよ健康情報メール、やちよ子育て応援モバイルを活用した個別勧奨を行った。小中学校の保護者に対してチラシの配布を実施した。前年度と比べ受診率は微増したため、上記の取り組みを継続していく。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	② 健康診査・健康相談等の実施	83-1. 健康診査の実施 (1)特定健康診査、特定保健指導	健康づくり課	実施した	40歳以上の市民を対象に委託歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施。 成人歯科健康診査受診者数 30年度 2,327人 29年度 2,415人 28年度 2,520人 対象者への受診券送付に合わせて広報やホームページで受診勧奨した。また成人歯科健康診査受診勧奨チラシを歯科講演会やその他のイベント等で配布した。	前年度と同程度に歯の健康の保持増進を通じて健康づくりを推進できた。 受診率が横ばいであることから、引き続き歯の健康と全身の健康との関わりを広く周知し、受診率向上に努める。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		83-2. 健康診査の実施 (2)各種がん検診	健康づくり課	実施した	電話や来所による相談を実施し、必要に応じ受診勧奨や専門相談機関の紹介等を行った。 相談内容は、電話・来所とも生活習慣病に関する事、メンタルヘルスに関する事が上位を占めている。 健康相談の窓口については、市広報やホームページへの掲載、健康講座や健康診査等に参加した市民にチラシを配布するなど継続的に周知している。 電話相談件数 30年度 172件 29年度 221件 28年度 238件 来所相談件数 30年度 48件 29年度 47件 28年度 52件	市民の健康についての不安を解消できるよう相談に対応し、市民の健康づくりについて支援することができた。 引き続き、やちよ健康情報メール等も活用し、周知に努める。 専門機関に関する情報は常に更新することから、相談者に適切な情報が提供できるよう情報収集にも努める。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		83-3. 健康診査の実施 (3)成人歯科健康診査	健康づくり課	実施した	メンタルヘルスほっと相談は日常業務で対応が可能なることから廃止した。相談業務の一環として、関係機関、障害福祉サービス事業所等と連携を図り相談支援を継続している。 ・電話相談 30年度 1,812件、29年度 2,227件、28年度 2,444件 ・来所相談 30年度 3,184件、29年度 3,181件、28年度 2871件 ・訪問 30年度 660件、29年度 716件、28年度 732件	障害を抱えながらも地域で安心して生活が送れるよう支援することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		84-1. 健康相談の実施 (1)電話、来所による健康相談	健康づくり課	実施した					
84-2. 健康相談の実施 (2)精神保健福祉相談	障害者支援課	実施した							

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(1) 健康づくりの充実	② 健康診査・健康相談等の実施	84-3. 健康相談の実施 (3)市職員のメンタルヘルス相談	職員課		実施した	カウンセラーによる月1回のカウンセリング事業—こころの窓口—を実施(予約制) ・実施回数 12日 ・利用人数(実数) 30年度 20名(うち女性9名) 29年度18名 28年度15名 ・利用人数(延べ) 30年度 36名 29年度34名 28年度45名	対象者に毎月事業の周知を行っており、自身の健康状態で不安をもっている方には、情報は届いていると考えられ、適切な利用がされていると考えている。今後も必要な人には個別に推奨するなどの支援・周知を図っていきたい。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			男女共同参画センター	実施した	健康診断結果の解説と、栄養に関する講座を開催。健康づくり講座「健康診断の結果を日常生活にどう生かす？」 1月18日(金) 参加者数 H30 21人, H29 14人, H28 12人	健康づくりへの意識啓発ができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		85-1. 健康に関する知識の普及、啓発 (1)健康教育	健康づくり課	実施した	主催及び依頼に基づく講座を通じて、高齢者の健康づくりに必要な運動や口腔ケアの方法、食生活等に関する知識の普及啓発を図った。 介護予防を目的とした講座実績 平成30年度:113回、延べ参加者数:4,097人(男:1,238人、女:2,859人) 平成29年度:116回、延べ参加者数:3,380人(男:1,069人、女:2,311人) 平成28年度:120回、延べ参加者数:4,156人(男:1,365人、女:2,791人)	介護予防を目的とした取り組みについて、前年度に比べて男女ともに参加者数は増加した。今後も、市民一人ひとりが健康な生活を送ることのできるよう取り組む。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			障害者支援課	実施した	・精神保健分野の理解啓発事業としてこころの健康づくりフェアを実施してきたが、平成27年度以降、障害種別に関係ない障害者理解啓発事業講演会に変更し、実施している。 ・2部制で実施した。障害者差別解消法における具体的な事例の紹介(第1部)「多様性を認め、自分らしく生きられる社会づくり」(第2部) 参加者 30年度 40人、29年度 79人、28年度 34人	参加者のアンケートからは概ね良好な評価が得られた。参加者は養護教諭や当事者とその家族を主として想定したが、そのような参加者が少なかったため、開催日時や周知方法の再考が必要である。	現状維持(具体的な取組を行った)		
	③ 心身の健康づくり対策の充実	85-3. 健康に関する知識の普及、啓発 (3)市職員のメンタルヘルス研修	職員課	実施した	4月9日 新規採用職員研修 心と体の健康管理 参加者 47名 4月17日 管理監督者が果たすべき安全配慮義務及びハラスメント防止対策研修 参加者40名 5月29日 主事研修 心のセルフケア研修 参加者39名 8月24日 主査研修 メンタルヘルスのサポート方法 参加者37名 9月5日 主査補研修 メンタルヘルスの基礎知識 参加者15名 10月30日 公募型研修「こころを整える実践研修」参加者14名	メンタルヘルスについての知識を深め、予防対策等について共通理解を図ることができた。	積極的な推進が見られた		
			母子保健課	実施した	・妊娠届出書を提出した妊婦に、母子健康手帳を交付した。交付の際は全ての妊婦に専門職が面接を行い、必要な保健指導や母子保健事業、子育て支援事業についての情報提供を実施。また、養育が必要な家庭を早期に把握し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターや医療機関等との連携により妊娠期からの継続支援につなげた。 ・妊娠初期から継続的な支援につながるよう、市役所・市内医療機関等に「早めに母子健康手帳の交付を受けましょう」という母子健康手帳の交付場所についての周知ポスターを掲示し、妊婦向けのチラシを配布した。さらに、近隣市の産婦人科にも妊婦向けのチラシを配布。また、妊娠期から子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターにつながるよう、母子健康手帳交付時にマタニティ広場や活動の説明を行った。 ・妊娠届出数 30年度 1,461件、29年度 1,457件、28年度 1,465件 ・妊娠12週未満の届出数 30年度 1,352件、29年度 1,342件、28年度 1,323件	妊娠12週未満の届出数は、全体の90%以上を維持しており、直近3年間で見ると割合は上昇傾向。妊娠早期に専門職が関わりを持ち、母子保健サービスや子ども子育て支援事業についての情報提供や保健指導ができた。また、支援が必要な人には個別のニーズに配慮した支援を行い、母子保健の充実が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
	(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	86-2. 健康教育、健康診査、健康相談の実施 (2)プレママ教室	母子保健課	実施した	初めて妊娠された方を対象に、専門職による講話や実習を行ったほか、子ども支援センター・地域子育て支援センターを紹介した。平成29年度まで8月と12月の実施がなかったが、平成30年度より就労妊婦の参加率を向上するため、4月の実施から夏季休暇を取得しやすいと思われる8月実施に変更した。 実施回数 30年度10回、29年度10回、28年度10回 参加者数(対象である初妊婦数) 30年度165人(685人)、29年度189人(680人)、28年度152人(659人) 参加率 30年度24.1%、29年度27.8%、28年度23.1% 妊娠出産について不安が軽減できた人の割合 30年度96.3%、29年度96.8%、28年度95.4% 友達づくりのきっかけができた人の割合 30年度90.1%、29年度86.1%、28年度85.5%	事業後の参加者アンケートの結果より、妊娠出産について、90%以上が不安の軽減や友達づくりのきっかけができたことと回答しており、概ね目標は達成できたと考える。	現状維持(具体的な取組を行った)	
				母子保健課	実施した	・妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援にむけて、医療機関と連携をとりながら健康事業を推進、健康診査受診者の健康状態を把握することで、異常を早期発見し、適切な治療や養育支援も含めた保健指導につなげている。 ・経済的に負担なく、安心して受診できるように妊婦健康診査は14回分、乳児健康診査、幼児健康診査は2回分の内科健診の公費負担をそれぞれ行った。 ・H28年4月から子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく調査)を実施し、子育てアンケートの結果と健診の間診内容等から支援が必要な人には、課内で対応方法を検討し、各地区担当が支援を実施している。 ・妊婦健康診査 30年度 18,096件、29年度 17,851件、28年度 18,169件 ・乳児健診 30年度 2,710件、29年度 2,908件、28年度 2,898件 ・1歳6か月児健康診査(内科) 30年度 1,575件、29年度 1,533件、28年度 1,498件 ・3歳児健康診査(内科) 30年度 1,474件、29年度 1,536件、28年度 1,564件	個別のニーズに配慮した支援の実施および母子保健事業の適切な実施が図れた。今後も引き続き行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)	
		母子保健課	実施した	・妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援にむけて、医療機関と連携をとりながら健康事業を推進、健康診査受診者の健康状態を把握することで、異常を早期発見し、適切な治療や養育支援も含めた保健指導につなげている。 ・経済的に負担なく、安心して受診できるように妊婦健康診査は14回分、乳児健康診査、幼児健康診査は2回分の内科健診の公費負担をそれぞれ行った。 ・H28年4月から子育てアンケート(厚生労働省の母子保健計画「健やか親子21(第2次)」に基づく調査)を実施し、子育てアンケートの結果と健診の間診内容等から支援が必要な人には、課内で対応方法を検討し、各地区担当が支援を実施している。 ・妊婦健康診査 30年度 18,096件、29年度 17,851件、28年度 18,169件 ・乳児健診 30年度 2,710件、29年度 2,908件、28年度 2,898件 ・1歳6か月児健康診査(内科) 30年度 1,575件、29年度 1,533件、28年度 1,498件 ・3歳児健康診査(内科) 30年度 1,474件、29年度 1,536件、28年度 1,564件	個別のニーズに配慮した支援の実施および母子保健事業の適切な実施が図れた。今後も引き続き行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)			

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進									
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	86-4. 健康教育、健康診査、健康相談の実施(4)訪問事業(新生児、乳児家庭全戸等)	母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問 提出された出生連絡票を基に、家庭訪問が必要と判断された家庭及び妊娠期からの継続支援を行っている家庭に、保健師・助産師による家庭訪問を実施した。産後早期の育児相談、養育支援を行うと共に、産後うつや産婦の不安や疑問、トラブルなどが早期に解消できるように支援した。 ・乳児家庭全戸訪問事業 事業を周知するために、母子健康手帳発行時に本事業について説明し、対象者には生後1か月頃に予防接種関係書類と一緒に事業の案内を送付した。生後4か月までの乳児のいる全家庭を、地域に住む子育て経験者である母子保健推進員(一部は保健師、助産師)が訪問した。様々な不安や悩みを聞いたり、子育てに関する情報提供をし、親子の心身の状況や養育環境の把握・助言を行い、支援が必要な家庭には適切なサービスにつなげた。訪問で会えない場合はその理由を把握するようにした。また、母子保健推進員の資質向上のために、勉強や研修会を実施した。 ・出生数に対する出生連絡票の提出率 30年度 91%、29年度 90%、28年度 84% ・新生児訪問実施件数 30年度 285件、29年度 284件、28年度 228件 ・乳児家庭全戸訪問の対象人数 30年度 1,482人、29年度 1,528人、28年度 1,606人 ・乳児家庭全戸訪問で会えた人数 30年度 1,416人、29年度 1,455人、28年度 1,526人 ・乳児家庭全戸訪問 訪問率 30年度 95.5%、29年度 95.2%、28年度 95% 	生後4か月までの乳児がいる95.5%の家庭に訪問を行い、個別のニーズにより様々な相談に対応しながら、安心して育児ができるように支援を継続することができており、母子保健の充実が図れた。訪問で会えない家庭に対しても、必ず理由の把握を行い、その後の支援につなげた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 発達節目である生後4か月と10か月「赤ちゃん広場」を実施し、身体測定、発達確認を行うとともに、個別相談、親同士の交流の場を提供した。(以下、4か月児赤ちゃん広場を「4赤」、10か月児赤ちゃん広場を「10赤」と表現する。) ・事業実施回数 30年度 4赤133回 10赤124回 29年度 4赤133回 10赤131回 28年度 4赤125回 10赤125回 ・参加率 30年度 4赤80% 10赤77% 29年度 4赤82% 10赤76% 28年度 4赤78% 10赤76% ・疑問に思っていたことが解決できた割合 30年度 4赤76% 10赤86% 29年度 4赤73% 10赤86% 28年度 4赤63% 10赤88% ・不安が和らいだ割合 30年度 4赤70% 10赤75% 29年度 4赤76% 10赤81% 28年度 4赤69% 10赤82% ・事業参加人数 30年度 4赤1,172人 10赤1,182人 29年度 4赤1,238人 10赤1,217人 28年度 4赤1,251人 10赤1,256人 ・個別相談人数 30年度 4赤711人 10赤749人 29年度 4赤780人 10赤781人 28年度 4赤736人 10赤769人 ・もともと疑問がなかった割合 30年度 4赤18% 10赤14% 29年度 4赤24% 10赤10% 28年度 4赤30% 10赤12% ・もともと不安がなかった割合 30年度 4赤22% 10赤23% 29年度 4赤18% 10赤16% 28年度 4赤25% 10赤16% 	参加率は8割を維持し、利用者アンケートからも、赤ちゃん広場への参加や個別相談により疑問や不安が解消できているため、個別のニーズに配慮した支援により母子保健の充実が図れていると考える。引き続き子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターと密に情報共有し、継続支援の方法を工夫するほか、欠席者へは訪問や来所面談により状況確認や支援を行う。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			母子保健課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 食生活、歯科、その他育児などに関する相談を受け、子育てに関する不安や悩みに対応した。 市民への電話相談の周知に関しては、各種事業で伝える、子育てハンドブック等の配布物の掲載・ホームページや広報への掲載・小中学生向けに配布する思春期の悩みに関するリーフレットへの掲載で周知を行った。 ・食生活相談(面接) 30年度 29件、29年度 42件、28年度 85件 ・各事業での食生活相談(面接) 30年度 1,145件、29年度 1,129件、28年度 1,143件 ・食生活電話相談 30年度 330件、29年度 484件、28年度 486件 ・食生活家庭訪問 30年度 36件、29年度 8件、28年度 15件 ・歯科相談(面接) 30年度 32件、29年度 23件、28年度 28件 ・歯科電話相談 30年度 75件、29年度 55件、28年度 78件 ・歯科家庭訪問 30年度 11件、29年度 1件、28年度 5件 ・電話相談(育児相談等) 30年度 11,492件、29年度 10,784件、28年度 9,141件 	個別のニーズに配慮した母子保健の充実が図れた。引き続き事業の周知をホームページや広報等で行っていく。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			生涯学習振興課(図書館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を通して親子の心ふれあひとときを持つきっかけを作るため、「4か月児赤ちゃん広場」等でブックスタートパックを配布した。 ～配付数～ H28年度:1,779 H29年度:1,642 H30年度:1,526 	親子のコミュニケーションを深めるきっかけとなり、乳幼児期の子育て支援につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)		

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価	
IV 健やかに暮らす										
1 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進										
(2) 母子保健の充実	① 個別のニーズに配慮した母子保健の充実	87. 食育の取組	母子保健課	実施した	ア やちよ食育ネットワーク協議会 ・市内小中学校で農業生産者と共に食育授業を行う食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。平成30年度は、調査において自校で農業生産者と日程調整等を行うのは難しいと回答した9校に対しコーディネートを実施した。学校独自で連絡調整を図り授業を実施した13校と合わせ、小学校22校全校で農業生産者と関わりのある食育を実施することができた。企画・運営・評価を「やちよ食育ネットワーク協議会」で実施した。 ・会議開催 協議会1回、分科会1回、協議会・分科会合同会議1回 ・広報誌「やちよ食育マガジン」の発行 1回(第25報) ・「学校での食育を推進するための学習会」を実施した。 イ 母子保健・子育て事業等での食育 妊娠期からの継続した食育事業を子ども支援センター・地域子育て支援センター(子ども保育課)と連携して実施。 ・妊娠期…妊婦に対しての食育(プレマ教室参加 30年度165名/29年度189名/28年度152名) ・乳児期…4か月・10か月児赤ちゃん広場での食育(参加者 30年度2,354名/29年度2,455名/28年度2,507名とその保護者) ・幼児期…もうすぐ1歳半おやこ広場での食育(参加者 30年度707名/29年度726名/28年度722名)、みんなで食育事業での食育(30年度22回 169名/29年度28回 329名/28年度33回 436名) ・その他…公民館・サークル・学童保育等からの依頼食育講座(30年度13回 374名/29年度2回 14組/28年度4回 4組)	ア やちよ食育ネットワーク協議会 平成30年度は、小学校22校全校で農業生産者と関わりのある食育授業を実施できた。今後も長く継続させるために、学校が独自に取り組める体制を構築することが課題である。 イ 母子保健・子育て支援事業等での食育 各所で実施された妊娠期からの継続した食育の推進により、母子保健の充実が図れている。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			農政課	実施した	母子保健課が事務局となっているやちよ食育ネットワーク協議会・分科会における会議に参加し、情報共有を行った。 ・やちよ食育ネットワーク協議会 30年度 2回、29年度 3回、28年度 3回 ・やちよ食育ネットワーク分科会 30年度 2回、29年度 2回、28年度 2回 ・授業視察 30年度 4回、29年度 1回	目標の推進に向けて協力することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			保健体育課	実施した	・市内産の食材を年間を通じて学校給食に使用した。 ・市内産エコ参を使用して「学校給食エコにんじんウィーク」等、特色のある取組を実施。 ・児童生徒の野菜への関心を深めるために、「給食だより」に野菜のコーナーを設けて、「野菜バクバク 元気モリモリ」を掲載した。	・農業生産者とのふれあい事業を実施することで、農業への関心と食べ物への感謝の気持ちを高められた。 ・栄養教諭・学校栄養職員が授業を行うことにより、給食を生きた教材として活用し、食に関する知識を得ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	② 性に関する心とからだの保健事業の推進	88. 思春期の生と性に関する取組	母子保健課	実施した	・八千代市思春期保健ネットワーク会議を開催し、様々な立場から思春期保健について議論した。 委員数8名:30年度会議4回、29年度5回、28年度5回 ・性に関する相談機関や正しい知識が得られるサイトを紹介するリーフレットを中学1年生に配布した。 30年度3,248枚、29年度3,426枚、28年度7,654枚 ・大人に対する啓発事業として思春期シンポジウム「性別で見る多様性と人権」を開催。参加者の増加を図るため、チラシ配布、ポスター掲示を早期から実施したが参加者数が少なかった。 30年度参加者44名、29年度77名、28年度70名 ・思春期保健シンポジウムの内容を掲載した思春期保健ネットワークニュースレター第10報を市内の小中学校保護者等に配布した。30年度10,500枚 ・八千代市オリジナル生と性の教育教材のデータ更新の検討を行った。	・目標に向けた取り組みは継続できている。 ・思春期保健ネットワーク会議の発足から12年が経過し、思春期の子どもを取りまく環境が大きく変化しているため、改めて医療、教育等の各分野の取組内容や課題の共有を図る必要がある。そのため、今後のシンポジウムの在り方について検討した。	現状維持(具体的な取組を行った)			
			保健体育課	実施した	思春期保健ネットワーク会議と連携し、全ての子どもたちが自分自身の生と性を大切にすることをめざし、性に関する心とからだの保健事業の推進を図った。	思春期保健ネットワーク会議と連携し、保護者及び関係者に八千代市の現状・事業・正しい知識等を伝えることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)			
		89-1. 性教育の推進 (1)小中学校における性教育の推進	保健体育課	実施した	各小中学校における性教育の推進が図れるよう、思春期保健ネットワーク会議と連携し、オリジナル教材の見直しや教育プログラムの検討を行う作業部会に協力している。 授業の実施状況やオリジナル教材内の指導案について使用後のアンケート調査と結果の分析を行った。	オリジナル教材の紹介を積極的に行うことにより、小中学校における性教育の推進につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)			
		89-2. 性教育の推進 (2)公民館における性教育の推進	生涯学習振興課(公民館)	実施した	思春期の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育講座の中で性に目覚める子どもとの関わり方や問題などについて学んだ。 H28受講者数 245名 H29受講者数 242名 H30受講者数 80名(*睦公民館「コスモス学級」未実施)	家庭教育講座自体への参加者が少ないことから、周知方法等の検討が必要である。	現状維持(具体的な取組を行った)			
	2 自立した生き方を支える福祉の充実									
	(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実	90-1. 保育園事業の充実 (1) 障害児保育の推進	子ども保育課	実施した	保育を必要とする障害児の受入れを行った。 障害児保育実績 44名 公立保育園 7園 29名 私立保育園 9園 15名 また、児童発達支援センターと連携を図り障害児保育の実技指導研修会を実施し保育環境の向上を図った。	保育を必要とする障害児の受入れにより子育て支援の充実を図った。 障害児の受入れは保育士の加配等を要することから保育体制の確立に課題があると考える。	現状維持(具体的な取組を行った)		
			90-2. 保育園事業の充実 (2) 保育園の地域開放の促進	子ども保育課(保育園)	実施した	保育園の地域開放により、遊びの場の提供、育児相談、親子の触れ合い遊び等を行い子育て支援の充実を図った。	保育園の地域開放の実施により、交流を楽しみにする親子や園見学を目的とした保護者に対し、子育て支援の充実を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
90-3. 保育園事業の充実 (3) 延長保育の推進			子ども保育課	実施した	女性就労の増加や就労形態の変化等に対応するため、保育園において午後7時(一部8時)までの時間外保育を実施し、子育て支援の充実を図った。	保育園における時間外保育の実施により子育て支援の充実を図ることができた。 拡充等にあたっては保育士の確保が課題であると考える。	現状維持(具体的な取組を行った)			

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	① 保育ニーズに合わせた保育事業の充実			90-4. 保育園事業の充実(4) 産休明け保育の推進	子ども保育課	実施した	女性が出産後も就労を継続できるような産休明け保育を実施した。	産休明け保育の実施により子育て支援の充実を図ることができた。定員数があるため待機児童の発生が課題であるとする。	現状維持(具体的な取組を行った)
				90-5. 保育園事業の充実(5) 乳児保育定員の拡充	子ども保育課	実施した	保育園等において乳児保育定員の拡充に努めた。	子育て支援の充実を図るため乳児保育定員の拡充に努めた。保育ニーズの増加により待機児童解消には至っていない。	現状維持(具体的な取組を行った)
				90-6. 保育園事業の充実(6) 私立保育園等に対する助成	子ども保育課	実施した	八千代市新保育ガイドラインに沿った保育内容の充実と施設運営の円滑を図るため私立保育園及び認定こども園に対し助成を行った。	施設運営の円滑を図るため私立保育園及び認定こども園に対する助成を行うことにより、保育環境整備の充実等を行うことができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				90-7. 保育園事業の充実(7) 一時預かりの推進	子ども保育課	実施した	保護者の短時間や断続的な就労、就学、冠婚葬祭等で一時的に育児が困難な場合の預かり、または保護者の育児に伴う負担解消のため預かりを行う民間保育園等に補助金を交付することにより子育て支援の充実を図った。	個々の保育需要ニーズに対応するため民間保育園等を活用した環境整備により子育て支援を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
				90-8. 保育園事業の充実(8) 休日保育の実施	子ども保育課	実施した	休日における保護者の就労等により保育を必要とする児童を保育するため、ゆりのき台保育園で休日保育を実施した。	休日保育を実施し子育て支援の充実を図っているが、実施にあたり職員体制の確保等が課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				91. 病児保育事業	子ども保育課	実施した	病気の回復期にある児童又は病気の回復期に至っていない児童に対し、集団保育等が困難な時期における一時的な保育サービスを実施した。 病児保育利用件数(延べ児童数) H30 1,461人(H29 1,715人・H28 1,384人)	病気の回復期にある児童又は病気の回復期に至っていない児童に対し、集団保育等が困難な時期における一時的な保育サービスの提供により子育て支援の充実を図ることができた。現在、病児保育実施施設が市内1か所(勝田台地域)であるため施設の拡充等が課題となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
				92. ファミリーサポートセンター事業の充実(すてっぷ21)	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	・産後及び育児支援として保育ニーズに対応した相互援助活動を実施 H30 会員数915人(依頼会員777人、両方会員42人、協力会員96人) H29 会員数798人(依頼会員660人、両方会員45人、協力会員93人) ・利用者向けに「おしえて!ふあみさぼ」開催 H30 14回 参加者148人 H29 7回 参加者67人 ・産後及び育児支援に係る基礎研修会、交流会等を開催 H30 13回 参加者217人 H29 14回 参加者238人	ファミリーサポートセンター事業の周知に努め、地域の会員同士の相互援助活動の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)
(2) 学童保育の充実	② 学童保育の充実		93. 学童保育事業の充実	子育て支援課	実施した	保護者が就労等の理由により昼間家庭にいない小学校1年生から6年生の児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えてその児童の健全な育成を図るため、学童保育を実施した。 また、村上東学童保育所、西高津学童保育所の新設、村上学童保育所、高津学童保育所、みどりが丘学童保育所の定員拡大のための整備を行った。 ・平成28年度 学童保育所数 23か所 合計定員数 1,180人、在籍児童数 1,143人 ・平成29年度 学童保育所数 24か所 合計定員数 1,325人、在籍児童数 1,278人 ・平成30年度 学童保育所数 24か所 合計定員数 1,325人、在籍児童数 1,297人 (各年度4月1日時点)	父母の就労支援や社会参加しやすい環境づくりを図ることができた。しかし、待機児童解消には至っていないため、引き続き学童保育所の整備を検討する必要がある。	積極的な推進が見られた	
				子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点に母子保健課と連携し、妊娠出産、乳幼児期を通じた支援を行った。また、日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供すると共に相談業務や情報提供を行った。	地域子育て支援センター・子ども支援センターを拠点に母子保健課と連携し、妊娠出産、乳幼児期を通じた子育て支援の推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
(3) 子育て支援の充実	③ 子育て支援の充実		94. 安心して子育てができる地域づくり	母子保健課	実施した	母子保健課と子育て支援課が連携し、子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センターを拠点として、妊娠出産、乳幼児期までの切れ目のない支援を実施した。また日々の遊びと交流の広場の利用につなげることで、親子が安心して遊べ、親同士が交流する場や機会を提供し、併せて相談業務や情報提供を行った。 子ども、子育て支援法に基づく利用者支援事業(母子保健課において母子保健型、すてっぷ21大和田において基本型)として、様々な相談やニーズに応じた支援や情報提供を行った。 ・妊娠届出書数 (母子保健課)30年度 900人、29年度 844人、28年度 799人 (子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター・ゆりのき台保育園) 30年度 561人、29年度 613人、28年度 666人 ・4か月児赤ちゃん広場 30年度 1,172人 80%、29年度 1,238人 82%、28年度 1,251人 78% ・10か月児赤ちゃん広場 30年度 1,182人 77%、29年度 1,217人 76%、28年度 1,256人 76% ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター開放日数 30年度 1,334日、29年度 1,388日、28年度 1,506日 ・子ども支援センターすてっぷ21・地域子育て支援センター全利用者数 30年度 36,710人、29年度 54,087人、28年度 60,948人 ・出前「遊びと交流の広場」開催場所 30年度 11箇所、29年度 13箇所、28年度 11箇所 ・出前「遊びと交流の広場」利用者数 30年度 6,745人、29年度 7,543人、28年度 7,574人 ※八千代台保育園建て替えに伴い、地域子育て支援センターあいの遊びと交流の広場が休止。出前「遊びと交流の広場」の回数を増やし対応した。	母子保健課と子ども保育課が連携することで切れ目のない支援につなげ、子育て支援の充実が図れた。	現状維持(具体的な取組を行った)	

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(1) 多様な子育て環境の整備	③ 子育て支援の充実		95. 子ども相談センターの充実	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳未満の子どもと家庭(妊産婦を含む)の総合相談窓口として、保健師、教員経験者、精神保健福祉士、保育士、社会福祉士等の専門職と家庭相談員が、電話・面接・家庭訪問の個別支援と保護者向けのグループ支援を行った。また、児童虐待の未然防止・対応に取り組み、子どもの健全育成を支援した。 ・要保護児童対策地域協議会の運営と関係機関向け虐待防止研修の開催等により、関係機関の連携強化と専門性の向上に努めた。 ・保護者向けに「叩かない・怒鳴らない子育て講座」、「親と子の関係を考える会」を開催し、保護者のメンタルヘルスの向上と虐待防止を図った。 ・子ども相談センターへの相談件数(新規・継続) <ul style="list-style-type: none"> 延べ対応件数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 1,473件・41,213件 29年度 1,122件・30,070件 28年度 1,092件・26,307件 子ども相談センターの相談員数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 11人 29年度 10人 28年度 8人 関係機関向け研修及び啓発の実施回数と参加人数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 20回 471人 29年度 17回 529人 28年度 21回 595人 	関係機関と連携しながら、子育て支援の充実が図れた。また、職員1名の増員で、相談体制を強化できた。	積極的な推進が見られた	
			96. 地域子育て支援センター機能の充実	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ広場や子育てワークショップ「おしゃべり広場」等の交流の場を提供し、妊娠期の早い時期から地域子育て支援センター等の利用を促し、子育て支援の充実を図った。 	親子が安心して交流する場を提供すると共に相談業務、情報提供、親の学習支援などにおいて、保育士、栄養士、看護師等による専門性を活かした支援を行い、地域子育て支援センターの機能充実について推進を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			97-1. 講座等の開催(1)子ども教室、家庭教育講座等	生涯学習振興課(公民館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成を目指し、子どもの発達段階に合わせた親の関わり方を学ぶ機会や、子育てに関する情報の提供及び、親同士の交流の場として講座を開催した。 1 保護者対象講座(家庭教育講座等)11講座 <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数 210人 2 1歳児親子学級(市内9公民館10学級 全全10回) <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数 3,248人 3 親子対象講座(料理・陶芸・木工等)41講座 <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数 4,325人 4 青少年対象講座(茶道・工作・将棋等)54講座 <ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数 1,781人 	主催講座の実施により、児童の健全育成及び親同士の交流の充実を図ることができた。家庭教育講座への参加者数の減少は課題である。	積極的な推進が見られた	
	④ 児童の健全育成・親の交流機会の充実	97-2. 講座等の開催(2)子どもと本の講座、おはなし会	生涯学習振興課(図書館)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の事業を行った。 ・0～1歳向け、2～3歳向け、4歳以上向け等年齢に応じたおはなし会の定期開催 ・保育園対象のおはなし会 ・季節に合わせた特別おはなし会(こわいおはなし会等) ・ボランティアや保育士向けの読み聞かせ講座 ・本を使った調べ学習等の各種講座 	様々なおはなし会やイベントを実施し、図書館での交流の機会を設けることができた。より多くの人に参加してもらえるように、広報活動を活発に行っていくたい。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		98. 親学習支援事業の実施	子ども保育課(子ども支援センターすてっぷ21)	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親を対象に食を通じて育児力・生活力を上げるための「みんなで食育」、子育てのワンポイントを紹介する「子育て応援ポケット」、育児力を向上させる子育てワークショップ「おしゃべり広場」を実施し、参加型・体験型の学習機会を提供した。 【実施回数】 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで食育 H30:22回 H29:28回 ・子育て応援ポケット H30:75回 H29:65回 ・おしゃべり広場 H30:15回 H29:18回 	子育てをする親に対し、参加・体験型の学習機会を提供することにより子育て支援の充実を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)		
		99. 母子、父子、寡婦福祉資金の貸付	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭・父子家庭又は寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉の向上を図るため、各種資金を無利子又は低利子で貸し付けた。(県の事業であり、市は受付窓口) ・貸付件数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 7件、29年度 15件、28年度 20件 	ひとり親家庭の経済的な援助につながった。	現状維持(具体的な取組を行った)		
	(2) ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備	100. ひとり親家庭等の医療費助成	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等の母・父及び児童に対し、児童が満18歳に達する年度(一定の障害を有する場合は20歳に達した月末)まで、医療費の一部を助成した。 ・医療費の助成を受けた人の数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 1492人、29年度 1,520人、28年度 1,515人 	ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			101. ひとり親家庭の児童育成のための経済的支援の充実	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得のひとり親家庭に対して、児童扶養手当の支給を行った。 ・支給者数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 1,021人、29年度 1,031人、28年度 1,130人 	低所得のひとり親家庭に対して、経済的な支援をすることができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			102. 母子生活支援施設への入所	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上の問題のため、児童の養育が十分にできない場合、母子で施設に入所させ、生活指導、就労支援、保育の援助を行った。 ・入所世帯数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 1世帯、29年度 1世帯 28年度 2世帯 	母子が安心して生活できる場を提供することができた。	現状維持(具体的な取組を行った)	
			103. 高等職業訓練促進支援事業及び自立支援教育訓練助成事業	子ども福祉課	実施した	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金を、看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士等の資格取得のために、養成機関で就業しているひとり親家庭の母親へ支給した。 ・自立支援教育訓練給付金を、雇用保険の教育訓練指定講座を受講したひとり親家庭の母親へ支給した。 ・高等職業訓練促進給付金支給者数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 4人、29年度 2人、28年度 1人 ・自立支援教育訓練給付金支給者数 <ul style="list-style-type: none"> 30年度 2人、29年度 2人、28年度 2人 	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金の支給により、資格取得のための生活費の負担を軽減することができた。また、対象者の資格取得により増収が見込まれる状況となった。 ・自立支援教育訓練給付金の支給により、受講料の負担を軽減することができた。また、対象者が資格取得により増収が見込まれる状況となった。 	現状維持(具体的な取組を行った)	

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価					
IV 健やかに暮らす														
2 自立した生き方を支える福祉の充実														
(2) ひとり親家庭の自立の推進	① 経済の安定と住環境の整備	104. 母子世帯向け市営住宅	健康福祉課	実施した	年に3回、広報やちよ及び市ホームページを活用し、入居者の募集をした。 ・総入居件数 30年度 20件 29年度 21件 28年度 23件 ・新規入居件数 30年度 2件 29年度 1件 28年度 2件	母子家庭の生活の安定のため住居を供給できた。引き続き母子家庭の居住の安定を図るため、母子世帯向け市営住宅を供給していく。	現状維持(具体的な取組を行った)							
								② 生活支援の充実	105. ひとり親家庭等日常生活支援事業	子ども福祉課	実施した	義務教育終了前の児童がいるひとり親家庭で、親が急に病気になった時や、仕事が入った時などに家庭生活支援員が児童の保育などの支援を行った。 ・利用者数 30年度 16人、29年度 9人、28年度 8人 ・延べ利用回数 30年度 511回、29年度 339回、28年度 287回	ひとり親家庭の生活支援となっている。	現状維持(具体的な取組を行った)
	③ 緊急時対応の充実	107. 緊急時の児童相談所との連携	子ども福祉課(子ども相談センター)	実施した	保護者の疾病や出産等により子どもの養育が困難な場合 ①3歳未満の児を対象に子どもショートステイ事業を実施した。 ②0から2歳児で子どもショートステイ事業が利用できない場合や3歳以上の児である場合は、当該児童の情報を児童相談所に提供し、児童相談所が必要に応じて一時保護の措置を講じた。 子どもショートステイ事業は、3歳未満の児を対象としており、事業の利用が必要な家庭へ周知として、広報のほか、母子保健推進員の訪問時や1歳6か月児健診の際に事業案内リーフレットを配布した。また、里帰りでの利用必要案件について検討し、「八千代市子どもショートステイ事業実施要領」に加えた。 (子どもショートステイ事業利用実績) ・利用件数 30年度 30件、29年度 10件、28年度 10件 ・利用延べ日数 30年度 85日、29年度 23日、28年度 30日 ・問合せ件数 30年度 68件、29年度 45件、28年度 35件	本事業を必要とする家庭への認知を広めるため、乳児家庭全戸訪問事業による訪問時において、保護者への具体的な制度説明がなされるよう、母子保健推進員への周知を強化した。利用実績として、前年度と比べ利用件数、延べ日数ともに約3倍となった。	積極的な推進が見られた							
								① 自立援助の推進	108. 地域包括支援センターにおける相談事業	長寿支援課(地域包括支援センター)	実施した	高齢者の介護や老後の心配、健康や医療、福祉に関すること、その他生活全般の悩みについて、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が相談を受け、適切な相談機関や福祉・介護サービスなどの情報提供、助言を行った。 ・市内6箇所の地域包括支援センター延べ対応件数 (訪問・電話・来所等) H30年度:66,200件 (うち、大和田地域包括支援センター延べ対応件数 8,144件) H29年度:61,960件 (うち、大和田地域包括支援センター延べ対応件数 7,601件) H28年度:56,659件 (うち、大和田地域包括支援センター延べ対応件数 7,703件)	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の困りごとの相談、支援が行えた。	現状維持(具体的な取組を行った)
	109-1. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(1)高齢者日常生活用具給付等事業	長寿支援課	実施した	前年度の所得税が非課税の65歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、安心して生活ができるように、電磁調理器などの生活用具を給付・貸与した。 H28年度 給付:電磁調理器 2件(男0人、女2人)、火災警報器 1件(男0人、女1人)、自動消火器 2件(男0人、女2人)、老人福祉電話 5件(男4人、女1人) H29年度 給付:電磁調理器 3件(男0人、女3人)、火災警報器 1件(男0人、女1人)、自動消火器 1件(男0人、女1人)、老人福祉電話 0件 H30年度 給付:電磁調理器 5件(男2人、女3人)、火災警報器 3件(男1人、女2人)、自動消火器 2件(男1人、女1人)、老人福祉電話 1件(男1人、女0人)	高齢者の自立した生活を支援できた。	現状維持(具体的な取組を行った)								
							109-2. 日常生活用具、補装具の給付と貸与(2)日常生活用具費及び補装具費の支給							
	110. 入浴サービス事業	障害者支援課	実施した	入浴が困難な重度の障害者(児)、難病患者の健康増進と介護者の負担を軽減するために、自宅入浴サービスを行なった。 ・入浴実人数 30年度 6人、29年度 7人、28年度 10人 ・利用延件数 30年度 71件、29年度 68件、28年度 86件	体を清潔に保つことができ、家族の介護負担を軽減することができた。利用者の生活の質の向上を図る上では入浴回数が検討課題である。	現状維持(具体的な取組を行った)								
							① 自立援助の推進	111. 介護用品購入費助成事業の実施	長寿支援課	実施した	自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して、紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。 利用延件数 H28年度 1,873件 H29年度 1,639件 H30年度 1,670件	介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。	現状維持(具体的な取組を行った)	
	(3) 高齢者・障害者福祉の充実	① 自立援助の推進	111. 介護用品購入費助成事業の実施	長寿支援課	実施した	自宅において寝たきり及び重度の認知症である高齢者を介護している家族に対して、紙おむつなどの介護用品購入費の一部を助成した。 利用延件数 H28年度 1,873件 H29年度 1,639件 H30年度 1,670件								介護者及び家族の経済的・精神的負担が軽減された。

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
IV 健やかに暮らす									
2 自立した生き方を支える福祉の充実									
(3) 高齢者・障害者福祉の充実	① 自立援助の推進	112. 訪問指導の実施	健康づくり課	実施した	保健師、理学療法士、栄養士等が高齢者や障害者、生活習慣病リスクの高い住民を訪問し、住環境や生活状況等の評価に基づき、これらの改善を目的とした提案または助言を行う。	訪問実績 平成30年度：被訪問実人員 6人、被訪問延べ人員 9人 平成29年度：被訪問実人員27人、被訪問延べ人員32人 平成28年度：被訪問実人員43人、被訪問延べ人員74人	過去数年にわたり、訪問の依頼数は減少傾向にある。これは訪問看護ステーションをはじめ、市内における医療に携わる職員を配置する事業所等の社会資源が増加しているためと推察される。一方、当課においても有病者となるリスクの高い住民からの健康相談も受けていることから、今後も誰もが住み慣れた地域で明るく生きがいのある生活を送れるよう、健康状態が悪化するリスクの高い住民の健康増進に取り組んでいく。	現状維持（具体的な取組を行った）	
			長寿支援課	実施した	災害時・事故等緊急時に際し、保護者が不在のため、在宅生活が困難な要保護高齢者を一時的に指定した施設への保護を行う。	・利用件数 30年度 0件、29年度 0件、28年度 0件	緊急一時保護事業は、災害等の緊急時に適当な保護者がいない場合に一時的に市内の特別養護老人ホームで保護を実施する事業であるため、突発的な利用が想定される。突発的な事案発生に備えて事業を継続する。	現状維持（具体的な取組を行った）	
	② 緊急時対応の充実	113-2. 短期入所、緊急一時保護（2）障害児者の短期入所事業	障害者支援課	実施した	障害者（児）を在宅で介護している家族が、疾病等により介護が困難となった時に、短期間施設に入所させ、入浴、排泄及び食事の介護その他必要な支援を行う。	・実人数 30年度 109人、29年度 96人、28年度 93人 ・延件数 30年度 564人、29年度 377件、28年度 359件	緊急時の対応ができた。今後も実施していく。	現状維持（具体的な取組を行った）	
			長寿支援課	実施した	ひとり暮らしの高齢者が急病など緊急時に即時に連絡がとれるよう緊急通報装置を設置した。また、付属機器として孤独死防止の見守り機器を設置した。	新規設置数 H28年度 123件、H29年度 151件、H30年度 118件	ひとり暮らし高齢者の安心・安全が図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）	
			障害者支援課	実施した	ひとり暮らしの身体障害者手帳1級・2級所持者が、急病などの緊急事態のときに即時連絡が取れるよう、緊急通報装置を設置した。通報があった場合に、委託された業者が即時に必要な対応を行った。	・実人数 30年度 6人、29年度 8人、28年度 7人 ・利用延件数 30年度 64件、29年度 83件、28年度 78件	障害者の緊急事態への不安を軽減し、ひとり暮らしの身体障害者の安心・安全が図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）	
	③ 地域のサポート・ネットワークへの支援	114. 緊急通報システム設置	長寿支援課	実施した	専用端末の貸出延件数 H28年度 131件、H29年度 101件、H30年度 90件	緊急時の対応の充実が図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
			障害者支援課	実施した	行政防災無線を利用することにより、徘徊により行方不明になった高齢者等を早期に発見・保護し、安全の確保を図った。また、徘徊高齢者等情報メール（やちよ情報メール）を配信することにより、市民からの情報収集を図った。	H28年度 5件 H29年度 8件 H30年度 21件	緊急時の対応、行方不明者の早期発見につながることに、対象者の安全確保が図れた。より広く情報を周知することが課題である。	積極的な推進が見られた	
V みんなで推進する									
1 連携・協働体制の構築									
(1) 市民参加の推進	① 男女共同参画事業への市民参加の推進	117. 市民参加の推進	男女共同参画課	実施した	やちよ男女共同参画プラン懇話会 1月29日（火）実施 委員10人（市民委員5人、学識経験者5人）	意見を今後の本事業に取り入れ、市民参加の推進を図りたい。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		118. 市民意見導入の推進	男女共同参画課	実施した	・下記の会議に出席し、国・県・近隣自治体との情報交換を行った。 ちば男女共同参画行政担当者連絡会議 男女共同参画センター等連絡会議 男女共同参画づくりに向けての全国会議 ・千葉県男女共同参画地域推進員会議（千葉・葛南地域）に出席し、県や近隣自治体と協力して事業を実施した。月1回、第4水曜開催。	県・近隣自治体との連携・協力を図ることができた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
(2) 国・県・近隣自治体との連携・協力	① 国・県・近隣自治体と連携した取組の推進	119. 国、県、近隣自治体との連携	男女共同参画課 男女共同参画センター	実施した					
		120. 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	男女共同参画センター	実施した	講座実施状況をホームページ・施設内に掲載した。	男女共同参画センターの周知ができた。周知方法を工夫していきたい。	現状維持（具体的な取組を行った）		
2 推進体制の強化									
(1) 男女共同参画センターの充実	① 庁内推進体制の整備・拡充	121. 庁内推進組織の活用	男女共同参画課	実施した	男女共同参画施策を推進するための庁内の組織として設置した「やちよ男女共同参画プラン推進会議及び幹事会」の委員及び幹事に、やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画の進捗状況の概要を報告した。	本市の男女共同参画施策の進捗状況について、庁内推進組織を活用し周知を図れた。	現状維持（具体的な取組を行った）		
		122. 男女共同参画センターの周知と効果的な情報発信の実施	男女共同参画センター	実施した					

【資料1】平成30年度 やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画に基づく事業進捗状況一覧

主要課題	取組の方向	取組の内容	取組の項目	事業番号・事業名	担当部署	H30年度の実施状況	具体的な事業内容・実績	評価・課題点	男女共同参画の視点からの評価
2 推進体制の強化									
	(2) 庁内推進体制の整備・拡充	② 市職員への研修機会の提供	122-1. 市職員への研修機会の提供 (1) 国, 県等の講座, 研修等の情報提供	男女共同参画課	実施した	新規採用職員研修において, やちよ男女共同参画プランに基づき, 男女共同参画に関する取組を理解するため研修を実施した。	新規採用職員の意識啓発ができた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
			122-2. 市職員への研修機会の提供 (2) 男女共同参画に関する研修の実施	職員課	実施した	新規採用職員研修中, 「男女共同参画に関する取組」を実施し, 男女共同参画社会実現の重要性の周知を図った。また, 「地方公務員とは(服務)」においても上記と同様の項目を説明し, 更なる意識付けを図った。 「男女共同参画に関する取組」受講者数 単位 人 28年度 29年度 30年度 52 38 30 「地方公務員とは(服務)」受講者数 単位 人 28年度 29年度 30年度 59 64 47	新規採用職員を対象に, 「やちよ男女共同参画プラン」, 「八千代市職員の仕事・子育て両立支援プラン」及び「八千代市職員の女性活躍推進プラン」に基づき, 男女共同参画に関する取組を理解するための研修を実施し, 男女平等意識の啓発に努めた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	
	(3) 計画の進行管理の充実	① 計画の進行管理・評価・周知	123. 計画の進行管理, 評価, 周知	男女共同参画課	実施した	男女共同参画施策を推進するための庁内の組織として設置した「やちよ男女共同参画プラン推進会議及び幹事会」の委員及び幹事に, やちよ男女共同参画プラン第2期実施計画の進捗状況の概要を報告した。	本市の男女共同参画施策の進捗状況について, 庁内推進組織を活用し周知を図れた。	現状維持 (具体的な取組を行った)	